

14. 4-519



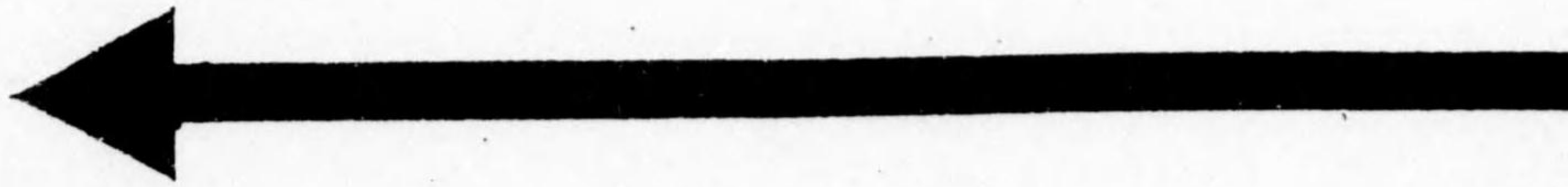
1200501206976

14.4

519



始



昭和四年六月發刊

上水道統計及報告

(以印刷代謄寫)

第五十號

上水協議會

144-519

上水道統計及報告目次

發行所寄贈本

一、上水協議會ノ沿革.....	一
一、上水協議會加盟年月表.....	一
一、上水協議會開催年月表.....	六
一、上水協議會規則.....	七
一、協定事項	
●協定上水試験法.....	一三
●協定統計様式.....	四五
●上水道職工工夫取締同盟規約其他.....	五六
一、上水協議會ノ職員.....	五八
一、昭和四年度上水協議會歳入出豫算.....	五九
一、昭和三年度 上水協議會豫算對照表.....	六三
一、昭和四年度 加盟各所負擔額對照表.....	六六
一、昭和四年度上水協議會會費負擔額調.....	六七
一、昭和三年度上水協議會歳入出追加豫算.....	七四



一、自昭和三年度至昭和四年度 制水弁及排氣弁調査費繼續年期及支出方法……………七七

一、昭和二年度上水協議會歲入出決算……………七九

一、水道統計

(一) 加盟各所水道經營機關……………八五

(二) 職員並附屬員

 其一、職員……………一二一

 其二、附屬員……………一四五

(三) 水道事務處理件數……………一八一

(四) 給水區域內面積……………一九三

(五) 給水普及率……………二〇五

(六) 給水狀況

 其一、栓數並戶口數……………二一七

 其二、給水栓並戶口增加率……………二六五

(七) 給水區域內總戶口增加率……………三二五

(八) 水量

發行人 寄嶺本

 其一、最大、最少、平均……………三七三

 其二、各月配水量……………三八五

 其三、配水量增加率……………四〇九

 其四、一月一栓當最多使用水量……………四五七

(九) 淨水作業……………五一七

(十) 給水竝維持工事……………五二七

(十一) 量水器

 其一、量水器取付數……………五三七

 其二、量水器種別……………五五七

 其三、量水器異狀並修繕費……………五八五

(十二) 供給勞力……………六〇五

(十三) 水料減免……………六一五

一、報告

 一、會員異動……………六二三

上水道統計及報告第十五號

上水協議會ノ沿革

上水協議會ハ改良水道ヲ有スル全國各所ノ當事者會同シ上水道ニ關スル諸種ノ事項ヲ研究シ且相互報告類ヲ交換スル目的ヲ以テ明治三十七年東京市ノ首唱ニ依リ成立シタルモノニシテ爾來毎年一回各所輪番ニ開催シ其ノ費用ハ全部主催地ニ於テ負擔スルヲ例トシタルモ本會ノ振興發展ヲ期スル爲從來ノ制度ヲ變更シテ本會ノ經費ハ之ヲ會員ノ負擔トシ且本會ニ於テ上水道ニ關スル統計報告其ノ他ノ事項ヲ輯録刊行シ會員ニ配付スルコトトナリ大正十一年度ヨリ之ヲ實施セリ

上水協議會會員加盟年月表

會員名	所 在	加盟年月	會員名	所 在	加盟年月
東京市	東京府	明治三十七年三月	橫濱市	神奈川縣	明治三十七年三月
大阪市	大阪府	同	長崎市	長崎縣	同
神戸市	兵庫縣	同	廣島市	廣島縣	同

會員名	所 在	加 盟 年 月	會員名	所 在	加 盟 年 月
元山府	朝鮮咸鏡南道	大正十五年 四月	豐原町	樺太	昭和二年 五月
目黒町	東京府荏原郡	同	大邱府	朝鮮慶尙北道	同
高砂町	兵庫縣加古郡	同	若松市	福島縣	同
釜山府	朝鮮慶尙南道	同	青梅町	東京府摩多郡	同
荒玉水	東京府北豐島郡西巢鴨町	同	新發田町	新潟縣	同
仁川府	朝鮮京畿道	同	大分市	大分縣	同
長岡市	新潟縣	同	大分縣	大分縣	同
前橋市	群馬縣	同	中津市	大分縣	昭和三年 四月
大津市	滋賀縣	同	新義州府	朝鮮平安北道	同
群山市	朝鮮全羅北道	同	明石市	兵庫縣	同
鎮南浦府	朝鮮平安南道	同	松山市	愛媛縣	同
平壤府	朝鮮平安南道	昭和二年 四月	伊東町	靜岡縣田方郡	同
五所川原町	青森縣	同	入幡市	福岡縣	同
川崎市	神奈川縣	同	箱根登山鐵道株式會社	神奈川縣足柄下郡小田原町	同
大泊町	樺太	同	戶畑市	福岡縣	昭和四年 四月
豐橋市	愛知縣	同	咸興市	朝鮮咸鏡南道	同
金澤市	石川縣	同	高岡市	富山縣	同
			姫路市	兵庫縣	同

豐岡町	兵庫縣城崎郡	昭和四年 五月	石卷町	宮城縣牡鹿郡	昭和四年 六月
静岡市	静岡縣	同	桑名町	三重縣桑名郡	同
木浦府	朝鮮全羅南道	同	計	一二〇箇所	

上水協議會開催年月表

主催地名	開催回次	開催年月	主催地名	開催回次	開催年月
東京市	第一回	明治三十七年三月	南滿洲鐵道株式會社 關東廳聯合主催	第十四回	大正六年八月
大阪市	第二回	同 三十八年十月	臺灣總督府	第十五回	同 七年十一月
長崎市	第三回	同 三十九年十月	大阪市	第十六回	同 八年十月
横濱市	第四回	同 四十年七月	小樽市	第十七回	同 九年八月
神戸市	第五回	同 四十一年九月	横濱市	第十八回	同 十年九月
臺灣總督府	第六回	同 四十二年九月	名古屋市	第十九回	同 十一年十月
廣島市	第七回	同 四十三年十月	甲府市	第二十回	同 十二年十月
東京市	第八回	同 四十四年十月	小倉、門司、若松 三市聯合主催	第二十一回	同 十三年十月
岡山市	第九回	大正元年十月	高崎市	第二十二回	同 十四年十月
朝鮮總督府	第十回	同 二年十月	京城府	第二十三回	同 十五年十月
新潟市	第十一回	同 三年十月	鹿兒島市	第二十四回	昭和二年十月
佐世保市	第十二回	同 四年五月	函館市	第二十五回	同 三年七月
京都市	第十三回	同 五年十一月			

上水協議會規則

第一章 總 則

- 第一條 本會ハ上水道ニ關スル諸般ノ事項ヲ研究調査シ其ノ改良進歩ヲ圖ルヲ以テ目的トス
- 第二條 本會ハ上水協議會ト稱ス
- 第三條 本會ハ官廳市區町村會社等ニシテ上水道ヲ經營スルモノ及上水道敷設計畫中ノモノヲ以テ會員トス
- 官廳ニシテ直接水道ノ經營ヲ爲ササルモ官公署ノ施設經營ヲ監督スルモノハ前項ノ會員ト看做ス
- 第四條 本會ハ第一條ノ目的ヲ達スル爲會議ヲ開催シ水道統計類ヲ輯録シテ會員ニ配付ス
- 第五條 本會ニ關スル事務ヲ處理スル爲理事一名ヲ置ク
- 理事ハ會議ニ於テ會員中ヨリ出席會員之ヲ選舉ス投票同數ナルトキハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム
- 理事ハ名譽職トシ其ノ任期ハ二箇年トス但シ重任スルコトヲ得
- 第六條 本會ニ主事一名書記其他ノ職員若干名ヲ置ク

大正六年第十四回會議ニ於テ組織變更動議成立
 大正九年第十七回會議ニ於テ改正規則實施議決
 大正十一年第十八回會議ニ於テ改正規則一項追加
 大正十二年第十九回會議ニ於テ第三條一項追加
 大正二十二年第二十回會議ニ於テ第六條、第九條改正

前項ノ職員ハ有給トシ理事之ヲ任免ス但シ其ノ一部ヲ無給トスルコトヲ得
職員ノ給與其ノ他ニ關シ必要ナル事項ハ理事之ヲ定ム

第二章 職務權限

第七條 理事ハ會議ノ都度次年度ノ豫算ヲ提出シ且前年度ノ收支決算ヲ報告スヘシ

第八條 理事ハ現金ノ收支並水道統計類議事録ノ編纂刊行ニ關スル事務ヲ總理ス

第九條 主事及書記其ノ他ノ職員ハ理事ノ指揮ヲ受ケ會務ニ従事ス

第三章 會 議

第十條 會議ハ毎年一回之ヲ開キ會員ヨリ提出シタル議案其ノ他ノ事項及豫算決算ヲ議決ス
會議開催地ハ前年ノ會議ニ於テ豫メ之ヲ定ム

第十一條 會議ノ招集、會議ノ議長其ノ他會議ニ關スル一切ノ事務ハ開催地會員之ヲ擔任ス

第十二條 開催地會員ハ理事ト協議ノ上内務省其ノ他關係當局ニ對シ會議ニ臨席ヲ請求スヘシ

第十三條 會員ハ其ノ代表者ヲ會議ニ出席セシムヘシ

第十四條 會議ノ議事ハ出席會員ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ據ル

第十五條 會議ハ議案其ノ他ノ事項ヲ調査スル爲委員ヲ設クルコトヲ得

第十六條 委員ハ出席會員中ヨリ之ヲ選舉ス但シ議長ノ指名ニ委スルコトヲ得

第十七條 委員會ハ委員長一名ヲ互選スヘシ

第十八條 委員及委員長ノ選舉ハ無記名投票トシ比較多數者ヲ以テ當選者トス同數者アルトキハ抽籤
ヲ以テ之ヲ定ム

第十九條 委員長ハ委員會ヲ招集シ議事ヲ整理シ其ノ經過及結果ヲ會議ニ報告スヘシ

第二十條 委員會ハ委員半數以上出席スルニ非サレハ議事ヲ開クコトヲ得ス其ノ議決ハ過半數ニ依リ
之ヲ決ス可否同數ナルトキハ委員長之ヲ決ス

第二十一條 議長ハ必要ニ應シ分科會ヲ設クルコトヲ得

分科會ニ於テハ委員會ニ關スル規定ヲ準用ス

第二十二條 開催地會員ハ會議終了後議事録編纂ニ要スル一切ノ資料ヲ理事ニ回附スヘシ

第四章 水道統計類及議事録

第二十三條 水道統計類ニハ上水道ニ關スル統計、報告其ノ他ノ事項ヲ輯録シ議事録ニハ議事、講演
其ノ他會議ニ關スル事項ヲ掲載ス

第二十四條 水道統計類ハ毎年六月及十二月ノ二回ニ議事録ハ次回會議開催二箇月以前ニ發刊ス但シ

協定ニ依ル統計表ハ十二月發刊ノ分ニ掲載ス

第二十五條 水道統計類及議事録ノ配布部數ハ會議ニ於テ之ヲ決ス

第五章 會計

第二十六條 本會ノ經費ハ會員之ヲ負擔ス

前項ノ經費ハ其ノ半額ヲ均分シ他ノ半額ハ左ノ標準ニ依リ按分シテ之ヲ定ム但シ水道敷設計畫中ニ係ル會員ノ按分率ハ各其ノ二分ノ一トス

級別	會員	別	按分率
一級	臺灣總督府、朝鮮總督府、關東廳、南滿洲鐵道株式會社	總戶數	一〇〇
二級	總戶數	四十萬以上	九〇
三級	總戶數	三十萬以上四十萬未満ノ市區町村	八〇
四級	同	二十萬以上三十萬未満ノ市區町村	七〇
五級	同	十五萬以上二十萬未満ノ市區町村	六〇
六級	同	十萬以上十五萬未満ノ市區町村	五〇
七級	同	五萬以上十萬未満ノ市區町村	四〇
八級	同	一萬以上三萬未満ノ市區町村	三〇
九級	同	五千以上一萬未満ノ市區町村	二〇
十級	同	千未満ノ市區町村	一〇

前項ノ戶數ハ前年末現在數ニ依ル

第二十七條 前條ノ負擔額ハ毎年四月一日ヨリ六月末日迄ニ理事ニ納付スヘシ

新ニ入會シタルモノノ負擔額ハ當該年度ニ於ケル同一級會員ノ負擔額ニ依リ月割ヲ以テ隨時指定期限内ニ納付セシム其ノ級別ニ據リ難キモノハ會議ノ議決ヲ經テ之ヲ定ム年度ノ中途ニ於テ退會スルモ當該年度ノ負擔額ハ之ヲ納付セシム

第二十八條 會議ニ要スル費用ハ開催地ノ會員ノ意見ヲ徵シ理事之ヲ定ム

前項ノ費用ハ開催地會員ヨリ現金ノ前渡シヲ請求スルコトヲ得

第二十九條 開催地會員ハ會議終了後直ニ會議費精算書ヲ作り理事ニ提出スヘシ

第三十條 本會ノ會計年度ハ毎年四月一日ニ始マリ翌年三月末日ニ終ル

第三十一條 本會ノ現金ハ信用アル銀行ニ預ケ入レ之ヲ出納スヘシ

第三十二條 豫算各費目ハ之ヲ流用スルコトヲ得

第三十三條 決算ノ結果剩餘金ヲ生シタルトキハ之ヲ準備金トシテ積立ツ

第三十四條 準備金ノ處分ハ會議ノ議決ニ依ル

第三十五條 收支計算上錢位未滿ノ端數ヲ生シタルトキハ四捨五入ノ法ニ依ル

第三十六條 本規則ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第三十七條 本規則ハ會員ノ三分ノ二以上出席シ其ノ過半數ノ同意アルニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第三十八條 協定上水試験法及協定事項其ノ他本則ニ抵觸セサル事項ハ從前ノ協定ニ依ルモノトス

●協定事項

●協定上水試験法(大正十五年第二十三回上水協議會ニ於テ改正議決)

第一 採 酌 法

一、上水試験用ノ採酌ハ左ノ三部ヨリスルコト。

一、水 源

毎年春秋ノ二季ニ水源適宜ノ地ニ就キ採酌ス。

水源地ニ沈澄池ヲ有スルモノハ本條ニ據ル。

其他ハ必要ニ應シ臨時採酌ヲ行フヘシ。

二、淨 水 場

濾池、淨水池、溜井及沈澄池ハ毎日一回採酌スルコト。

濾池、淨水池、溜井等甚タ遠隔スルモノハ其ノ給水栓ニ就キ本條ヲ適用ス。

事情ニ依リ一週一回迄ハ省略スルコトヲ得。

三、給 水 栓

適宜ノ部分ニ就キ時々採酌スヘシ。

二、採水器具ハ「ハイロート」氏法或ハ「エスマルヒ」氏法ニ據ルモノヲ用フルコト、但シ細菌學の検査用ノモノハ各個ノ瓶ニ所屬スル全裝置ヲ殺菌スヘシ。

三、濾池、淨水池、溜井等ニ於テハ可成周圍及ヒ深サノ中央ヨリ採酌スルコト。

四、給水栓ヨリ採酌スルトキハ充分開放シテ五分時以上放流セシメタル後採酌スルコト。

五、一定所ニ於ケル採酌ハ細菌學の検査用ノモノヲ先ニシテ化學的の検査用ノモノヲ後ニスルコト。

六、濾池、淨水池、溜井ニ於テ採酌スル場合ニ被蓋アル部ニシテ降雨ノ際ナルトキハ開放ノ爲ニ汚水混入ノ虞アルヲ以テ暫時ノ後水質平均スルヲ待ツテ採酌スルコト。

第一 理化學的試驗

凡 例

一、本試験法ニ於テ使用セル略字、記號、度量衡ハ總テ第四改正日本藥局方ノ規定ニ據ルコトセリ。
 二、試藥ハ製法及ヒ含有量ニ關シ特別ノ記載アルモノ竝ニ現行日本藥局方外ノモノヲ除ク外、第四改正日本藥局方ノ規定セルモノヲ使用スルモノトス。

三、單ニ「プロセント」トアルハ重量「プロセント」ヲ示スモノニシテ、溶液百重量中ニ存スル藥品ノ重量ヲ指スモノトス。

四、容量「プロセント」ハ溶液百容積中ニ存スル藥品ノ容積ヲ指スモノトス。

試験法

一、溫度

水溫ハ採酌所ニ於テ「ベッテンコーフェル」氏採水檢溫器ヲ以テ測リ、氣溫ハ可成採酌所ニ近キ處ニ於テ日光ノ直射ヲ避ケテ測ルヘシ、而シテ其ノ測定時間ハ十分時間、示度ハ攝氏ニ依ルモノトス。

二、濁度

檢水百立方センチメートル (100c.cm.) (濁濁甚タシキ場合ハ少量ヲ採リ蒸餾水ヲ以テ百立方センチメートル (100c.cm.) ニ稀釋ス) ト濁度既知ノ標準液トヲ各別ノ「ネスレル」管 (無色平底硝子管ニシテ管底ヨリ二十センチメートル (20cm.) ノ所ニ百立方センチメートル (100c.cm.) ノ度目ヲ

有スルモノ) ニ採リ、黒紙上ニテ上方ヨリ透視シテ濁度ヲ定ム。但シ、濁度ハ蒸餾水一リートル (1L) 中ニ白陶土一ミリグラム (1mg.) ヲ含ムモノヲ以テ一度ト定ム。

三、色度

檢水百立方センチメートル (100c.cm.) ト色度既知ノ標準液トヲ各別ノ「ネスレル」管ニ採リ、白紙上ニ置キ上方ヨリ透視シ比色檢定ス。但シ色度ハ四萬倍「ビスマルクブラウン」水溶液一立方センチメートル (1c.cm.) ヲ蒸餾水ヲ以テ稀釋シ、全容積ヲ一リートル (1L) トナシタルモノヲ一度ト定ム。

四、臭味

檢水百五十立方センチメートル (150c.cm.) ヲ内容五百立方センチメートル (500c.cm.) ノ共口「エルレンマイエルコルベン」ニ採リ、栓塞シ重湯煎又ハ熱板上ニテ殆ント沸騰スルニ至リ、五分間放冷シ振盪シテ臭味ヲ檢ス。

五、反應

反應ハ「ロゾール」酸溶液ヲ以テ檢ス。評語ハ「弱酸性」「中性」「弱アルカリ性」及ヒ「アルカリ性」トス。

「ロゾール」酸溶液製法

「ロゾール」酸一グラム (1g.) ヲ八十容量プロセント「アルコホル」五百立方センチメートル (500c.cm.) ニ溶解シ茲ニ得タル橙黃色ノ液ニ「バリット」水ヲ加ヘテ液色ノ正ニ赤色ニ變セントスル

ノ度ニ至ラシム。

「バリット」水ノ製法

「アルカリ」ヲ含まサル純粹ナル水酸化「バリウム」三・五グラム(3.5g.)及ヒ「クロールバリウム」〇・二グラム(0.2g.)ヲ蒸留水ニ溶解シ、全量ヲ一リートル(1l.)トナシ靜置シテ偶々存在スル炭酸「バリウム」ヲ沈定セシムヘシ。

(イ) 「アルカリ」度ノ測定

檢水百立方センチメートル(100c.cm.)ヲ内容二百五十立方センチメートル(250c.cm.)ノ共口「コルベン」ニ採リ、「エリトロシン」溶液一立方センチメートル(1c.cm.)及ヒ中性ノ「クロロホルム」五立方センチメートル(5c.cm.)ヲ加ヘ振盪シ、此際「クロロホルム」カ薔薇紅色ヲ呈セハ(水酸化物、重炭酸鹽、又ハ炭酸鹽、存在ノ徴)之ニ五十分ノ一定規硫酸ヲ滴下シ、振盪シテ「クロロホルム」ノ脱色スルニ至ラシム。而シテ其ノ「アルカリ」度ハ炭酸「カルチウム」トシテ計算シ、消費セル五十分ノ一定規硫酸ノ立方センチメートル數ニ、十ヲ乘シタル數ヲ以テ示ス。「エリトロシン」溶液ハ「エリトロシン」(ナトリウム鹽)〇・五グラム(0.5g.)ヲ新タニ煮沸シタル蒸留水一リートル

(1l.)ニ溶解シタルモノナリ

(ロ) 酸度ノ測定

檢水百立方センチメートル(100c.cm.)ヲ磁製蒸發皿或ハ白紙上ニ置キタル「エルレンマイエルコルベン」ニ採リ、「フェノールフタレイン」溶液四滴ヲ加ヘ、五十分ノ一定規炭酸「ナトリウム」溶液ヲ以テ滴定ス。總酸度ハ消費セル炭酸「ナトリウム」溶液ノ立方センチメートル數ニ、十ヲ乘シタル數ヲ以テ示ス。

五十分ノ一定規炭酸「ナトリウム」溶液製法

無水炭酸ナトリウム一・〇六グラム(1.06g.)ヲ煮沸シテ炭酸瓦斯ヲ驅逐シタル蒸留水ニ溶解シ、全容積ヲ一リートル(1l.)トシタルモノニシテ、其ノ一立方センチメートル(1c.cm.)ハ炭酸「カルチウム」一ミリグラム(1mg.)ニ對應ス。

「フェノールフタレイン」溶液製法

「フェノールフタレイン」五グラム(5g.)ヲ五十容量プロセントノ「アルコール」ニ溶解シ、全容積ヲ一リートル(1l.)トナシ十分ノ一定規苛性「カリ」ヲ以テ中和シテ製ス。尙酒精ハ煮沸シテ炭酸瓦斯ヲ驅逐シタル蒸留水ヲ以テ稀釋シタルモノナリ。

六、「クロール」の定量

檢水五十立方センチメートル(50c.cm.)ヲ直径十五センチメートル(1.5cm.)ノ磁製蒸發皿又ハ白紙上ニ置キタル「ペーヘル」ニ採リ、「クローム」酸「カリウム」溶液一立方センチメートル(1c.cm.)ヲ

加へ、標準硝酸銀溶液ヲ以テ滴定シテ微ニ赤色ヲ呈スルニ至ラシム。

其ノ終末點ヲ知ルニハ檢水ト同様ノ器ニ蒸餾水五十立方センチメートル (50c.cm.) 及ヒ「クロロム」酸「カリウム」溶液一立方センチメートル (1c.cm.) ヲ入レタルモノノ色相ト比較セハ容易ナリ。「クロール」ノ含量大ニシテ標準硝酸銀溶液二十五立方センチメートル (25c.cm.) 以上ヲ消費スル時ハ檢水ヲ少量ニ採リ、蒸餾水ニテ稀釋シテ用ヒ、之ニ反シ「クロール」ノ含量甚タ少ナル時ハ檢水二百五十立方センチメートル (250c.cm.) ヲ採リ蒸發シテ五十立方センチメートル (50c.cm.) ニ濃縮シテ試験ス。

檢水ノ色度三十度以上ナル時ハ水酸化「アルミニウム」ヲ以テ脱色シタル後試験ヲ行ヒ、檢水酸性ナル時ハ炭酸ナトリウム溶液ヲ以テ中和シ之ニ反シ「アルカリ」性ナル時ハ「フェノール」フタレイ「ン」ヲ標示藥トシテ硫酸ニテ中和シタル後滴定ス。

標準「クロールナトリウム」溶液製法

純粹ナル「クロールナトリウム」一六・四八グラム (16.48g.) ヲ蒸餾水ニ溶解シテ全容積ヲ一リートル (1l.) トナシ其ノ百立方センチメートル (100c.cm.) ヲ採リ蒸餾水ヲ以テ稀釋シテ一リートル (1l.) トナス、其ノ一立方センチメートル (1c.cm.) ハ「クロール」〇・〇〇一グラム (0.001g.) ヲ含ム。

標準硝酸銀溶液製法

硝酸銀二・四グラム (2.4g.) ヲ蒸餾水ニ溶解シテ全容積ヲ一リートル (1l.) トナシ、前記「クロールナトリウム」溶液ヲ以テ本液ノ一立方センチメートル (1c.cm.) カ正シク「クロール」ノ〇・〇〇五グラム (0.0005g.) ニ對應スル様力價ヲ定ム。

「クローム」酸「カリウム」溶液製法

「クローム」酸「カリウム」五十グラム (50g.) ヲ少量ノ蒸餾水ニ溶解シ、之ニ微赤色ノ沈澱ヲ生スルニ至ルマテ硝酸銀液ヲ加ヘテ濾過シ其ノ濾液ニ蒸餾水ヲ加ヘテ一リートル (1l.) トナス。

七、硫 酸

檢水二十立方センチメートル (20c.cm.) ニ鹽酸ヲ加ヘ酸性トナシタル後「クローム」バリウム「溶液」ヲ加ヘ十二時間放置シタル後上清ヲ傾斜シ殘留セル硫酸「バリウム」ノ量ニヨリ其ノ多少ヲ定ム。評語ハ微痕跡、痕跡、極少量、少量、トス。但シ多量ノ場合ニハ定量ヲ行フヘシ。

八、硝 酸

檢水二十立方センチメートル (20c.cm.) ニ「サリチール」酸「ナトリウム」溶液 (1.100) 一立方センチメートル (1c.cm.) ヲ加ヘテ蒸發乾燥シ、冷後硫酸一立方センチメートル (1c.cm.) ヲ加ヘテ殘留物ノ全面ヲ濕シ、後蒸餾水及ヒ「アムモニア」水、各十立方センチメートル (10c.cm.) ヲ加ヘテ比

色スヘシ。

九、亞硝酸

(イ) 定性法

檢水五十立方センチメートル (50c.cm.) ニ稀硫酸 (硫酸一容積及ヒ水二容積ヨリ成ル) 一立方センチメートル (1c.cm.) ノ割合ヲ以テ、密閉シ得ヘキ硝子圓筒ニ採リ之ニ沃度亞鉛澱粉溶液ヲ加ヘテ試験ス。

(ロ) 定量法

檢水五十立方センチメートル (50c.cm.) ヲ「ネスレル」管ニ採リ、(若シ著色セル時ハ亞硝酸鹽ヲ含マサル水酸化「アルミニウム」ニテ脱色ス) 別ニ數個ノ「ネスレル」管ニ夫々標準亞硝酸溶液 0.01、0.1、0.2、0.4、0.7、1.0、1.4、1.7、2.0、2.5c.cm.) ヲ入レ亞硝酸ヲ含有セサル水ヲ以テ五十立方センチメートル (50c.cm.) ニ稀釋シ、檢水及ヒ標準液ノ各々ニ「スルファニール」酸及ヒ「アルファナフチールアミン」溶液各一立方センチメートル (1c.cm.) 宛ヲ加ヘ、ヨク混和シ十分間放置シタル後比色ス。但シ比色試験ハ試藥注加後三十分以上ヲ經過スヘカラス。

檢水五十立方センチメートル (50c.cm.) ヲ使用セシ時ハ檢水ト同一色相ノ標準液中ノ標準亞硝酸溶液ノ立方センチメートルニ 0.01 ヲ乘スレハ檢水一リットル (1L) 中ノ亞硝酸性窒素ノ「ミリグラム」數ヲ得。

試藥ノ製法

(一) 亞硝酸「ナトリウム」原液

亞硝酸銀一・一グラム (1.1g) ヲ亞硝酸ヲ含有セサル蒸餾水ニ溶解シ、「クロールナトリウム」溶液ヲ加ヘテ銀ヲ沈澱セシメ濾過シタルモノニ蒸餾水ヲ加ヘ全容積ヲ一リットル (1L) トナス。

(二) 標準亞硝酸「ナトリウム」溶液

前記原液ノ百立方センチメートル (100c.cm.) ヲ一リットル (1L) ニ稀釋シ其ノ五十立方センチメートル (50c.cm.) ヲ滅菌シ且ツ亞硝酸鹽ヲ含有セサル水ヲ以テ全容積ヲ一リットル (1L) ニ稀釋シ之ニ「クロロホルム」一立方センチメートル (1c.cm.) ヲ加ヘテ滅菌瓶中ニ貯フ。此ノ一立方センチメートル (1c.cm.) ハ窒素 0.0005mg. ヲ含ム。

(三) 「スルファニール」酸溶液

純粹ナル「スルファニール」酸八グラム (8g) ヲ五定規醋酸 (比重一・〇四一) ヲ以テ溶解シ、全容積ヲ一リットル (1L) トナス、五定規醋酸ニ代フルニ鹽酸五十立方センチメートル (50c.cm.) ヲ蒸餾水ヲ以テ一リットル (1L) ニ稀釋シタルモノヲ以テスルモ可ナリ。

(四) 「アルファナフチールアミン」溶液

「アルファナフチールアミン」五グラム(5g.)ヲ五定規醋酸ニ溶解シ一リートル(10)トナシ、脱脂綿ヲ以テ濾過ス。此際五定規醋酸ニ代フルニ鹽酸八立方センチメートル(8c.cm.)ヲ一リートル(10)ニ稀釋シタルモノヲ以テスルモ可ナリ。

十、「アムモニア」

(イ) 檢水百乃至百五十立方センチメートル(100-150c.cm.)ニ對シ「ネスレル」氏試藥一立方センチメートル(1c.cm.)ノ割合ヲ以テ注加シ、白紙上ニ置キ反應ノ有無ヲ檢ス。但シ水層ノ高サハ二十センチメートル(20c.cm.)トナス。

「ネスレル」氏試藥製法

沃度「カリ」五十グラム(50g.)ヲ可及的少量ノ蒸留水ニ溶解シ、之レニ昇汞ノ飽和水溶液ヲ加ヘ少量ノ沈澱ヲ生セシメ、之ニ澄明ナル五十プロセント(50%)苛性「カリ」溶液四百立方センチメートル(400c.cm.)ヲ加ヘ蒸留水ヲ以テ、一リートル(10)ニ稀釋シ、靜置シタル後傾斜法ニヨリテ沈澱ヲ除去ス。

(ロ) 「アムモニア」性窒素定量法

内容一・五乃至二リートル(1.5-2L)ノ蒸留「コルベン」ニ還流冷却器ヲ連ネテ蒸餾ヲ行フ、即チ此

ノ「コルベン」ニ檢水五百立方センチメートル(500c.cm.)或ハ之ヨリ少量ノ檢水ヲ採リ、之レヲ「アムモニア」ヲ含有セサル蒸留水ニテ、五百立方センチメートル(500c.cm.)ニ稀釋シタルモノヲ容レ、此際檢水若シ酸性ナルカ、或ハ尿素含有ノ疑ヒアルトキハ蒸餾前〇・五グラム(0.5g.)ノ炭酸「ナトリウム」ヲ加ヘ、一分時間六乃至十立方センチメートル(6-10c.cm.)ノ割合ニテ蒸餾ヲ行フ。此ノ蒸餾液各五十立方センチメートル(50c.cm.)ヲ四本ノ「ネスレル」管ニ採ル、次ニ標準鹽化「アムモニウム」溶液ヲ種々ノ割合ニ「ネスレル」管ニ採リ、「アムモニア」ヲ含有セサル水ニテ五十立方センチメートル(50c.cm.)ニ稀釋シ、斯ノ如クシテ得タル標準液及ヒ、蒸餾液ノ各ニ「ネスレル」氏試藥一立方センチメートル(1c.cm.)ヲ加ヘ攪拌スルコトナク試藥添加後少ナク十分時間放置シタル後比色檢定ス。

若シ蒸餾液ノ著色カ標準液ノ何レヨリモ濃厚ナルモノアル時ハ其ノ蒸餾液ヲヨク攪拌シ、色相ノ濃淡ニ應ジ其ノ二分ノ一、四分ノ一或ハ八分ノ一容積ヲトリ、之ヲ五十立方センチメートル(50c.cm.)ニ稀釋シテ比色檢定ス。而シテ初メ檢水五百立方センチメートル(500c.cm.)ヲ採リタル場合ニハ、各蒸餾液ノ色相ト同一ノ色相ヲ呈スル標準液中ノ鹽化「アムモニウム」溶液ノ立方センチメートルノ數ノ合計ニ〇・〇二ヲ乘セハ檢水一リートル(10)中ノ「アムモニア」性窒素ノ「ミリグララム」數ヲ得ヘシ。

標準鹽化「アンモニウム」溶液製法

昇華法ニヨリテ得タル純粹鹽化「アムモニウム」三・八二グラム(3.82g)ヲ「アムモニア」ヲ含有セサル蒸留水ニ溶解シ、全容積ヲ一リートル(1l)トナシ、此ノ溶液ノ十立方センチメートル(10c.cm.)ヲ「アムモニア」ヲ含有セサル蒸留水ヲ以テ全容積ヲ一リートルニ稀釋ス。此ノ一立方センチメートル(1c.cm.)ハ〇・〇〇〇〇一グラム(0.00001g)ノ窒素ヲ含有ス。

十一、蛋白「アムモニア」性窒素定量法

「アムモニア」性窒素檢定ニ於ケル殘留液ニ「アルカリ」性過「マンガ」酸「カリウム」溶液五十立方センチメートル(50c.cm.)ヲ加ヘ、「アムモニア」性窒素檢定ノ場合ト同様ノ方法ニテ蒸餾シ、比色シテ檢定ヲ行フ。

「アルカリ」性過マンガ酸カリウム溶液ノ製法

蒸留水千二百立方センチメートル(1200c.cm.)ヲ磁製蒸發皿ニ容レ、十分時間煮沸シタル後加熱ヲ止メ、之ニ純過「マンガ」酸カリウム十六グラム(16g)ヲ加ヘ攪拌シテ、完全ニ溶解シタルモノニ澄明ナル五十プロセント(50%)苛性「カリ」溶液八百立方センチメートル(800c.cm.) (或ハコレニ當量ノ苛性「ソーダ」液)ヲ入レ、尙蒸留水ヲ加ヘテ、二千五百立方センチメートル(2500c.cm.)トナシタル後、蒸發シテ、二千立方センチメートル(2000c.cm.)トナス。尙溶液中ノ「アムモニア」ノ

有無ヲ檢定シ、若シ存在セハ試験ノ結果ニ修正ヲ施スヘシ。

十二、過マンガ酸カリウム消費費

檢水百立方センチメートル(100c.cm.)ヲ内容二百立方センチメートル(300c.cm.)ノ「ペーベル」ニトリ、之レニ稀硫酸五立方センチメートル(5c.cm.)及ヒ、百分定規過「マンガ」酸「カリウム」溶液十立方センチメートル(10c.cm.)ヲ加ヘ、(煮沸後濃赤色ヲ呈セサル時ハ更ニ多量ヲ加フ)沸騰重湯煎上ニテ、七分時間加熱シタル後、百分定規稀酸液十立方センチメートル(10c.cm.)ヲ加ヘテ褪色セル液ニ更ニ百分定規過「マンガ」酸「カリウム」溶液ヲ滴下シ微ニ紅色ヲ呈スルニ至ラシム。而シテ茲ニ費シタル百分定規過「マンガ」酸「カリウム」溶液ノ總立方センチメートル數ヨリ、百分定規稀酸溶液十立方センチメートル(10c.cm.)ニ對スル百分定規過「マンガ」酸「カリウム」溶液ノ立方センチメートル數ヲ減シタル差ハ、檢水百立方センチメートル(100c.cm.)ニ要スル百分定規過「マンガ」酸「カリウム」溶液ノ量ナリ。檢水一リートル(1l)中ノ被酸化物ノ酸化ニ要スル過「マンガ」酸「カリウム」ノ量ハ次ノ如クシテ算出ス。

$$x = (K - K') \frac{0.0316}{K'}$$

茲ニKハ百分定規過「マンガ」酸「カリウム」溶液ノ總立方センチメートル數、K'ハ百分定規稀酸溶液十立方センチメートルニ對スル過「マンガ」酸「カリウム」溶液ノ立方センチメートル數ヲ示

ス。

試 藥

(一) 稀 硫 酸

濃硫酸一容積蒸餾水二容積ヨリ成ル。

(二) 百分定規稀硫酸溶液ノ製法

純結晶稀酸〇・六二グラム(0.63g.)ヲ蒸餾水ニ溶シ全量ヲ一リートル(1l.)トナス。

(三) 百分定規過「マンガン」酸「カリウム」溶液製法

結晶過「マンガン」酸「カリウム」〇・三二乃至〇・三四グラム(0.32-0.34g.)ヲ蒸餾水ニ溶シ、全量ヲ一リートル(1l.)トナシタルモノニシテ、其ノ力價ヲ檢定センニハ蒸餾水百立方センチメートル(100c.cm.)ニ前記ノ稀硫酸五立方センチメートル(5c.cm.)ヲ加ヘ熱シ煮沸スルニ至リ、之ニ「ビュレット」ヲ用ヒテ過「マンガン」酸「カリウム」溶液五立方センチメートル(5c.cm.)ヲ注加シ、更ニ暫時熱シタル後加熱ヲ止メ百分定規稀硫酸溶液十立方センチメートル(10c.cm.)ヲ加ヘテ褪色セシメタル後、過「マンガン」酸「カリウム」溶液ヲ滴下シ、再ヒ消失セサル紅色ヲ呈スルニ至リ之レニ稀酸液十立方センチメートル(10c.cm.)ヲ注加シテ脱色セル液ニ過「マンガン」酸「カリウム」溶液ヲ滴加シテ微紅色ヲ呈スルニ至ラシム、而シテ茲ニ費シタル過「マンガン」酸「カリウム」溶液

ノ量ハ稀酸十立方センチメートル(10c.cm.)ニ對スル量ナリトス

十三、硬 度

水十萬分中ニ含有スル酸化「カルチウム」(CaO)一分ヲ以テ一度トナス。内容二百立方センチメートル(200c.cm.)ノ共口「エルレン、マイエルコルベン」ニ檢水百立方センチメートル(100c.cm.)ヲ採リ、標準石鹼液ヲ「ビュレット」ヨリ滴下シ、烈シク振盪シテ五分時間消滅セサル微細ノ泡沫ヲ生スルニ至リテ滴下ヲ止メ、消費シタル石鹼液ノ量ヨリ總硬度ヲ算出ス、總硬度六度以上ナルトキハ永久硬度ヲ測定スヘシ。

永 久 硬 度

内容二百立方センチメートル(200c.cm.)ノ「エルレン、マイエルコルベン」ニ檢水百立方センチメートル(100c.cm.)ヲ採リ、三十分時間靜カニ煮沸シタル後放冷シテ濾過シ、濾液ヲ百立方センチメートル(100c.cm.)ニ稀釋シタル後、前記ノ如ク石鹼溶液ニテ滴定シテ永久硬度ヲ定ム。

試 藥

(一) 石鹼原液製法

單鉛硬膏百五十グラム(150g.)ヲ磁製蒸發皿ニ採リ、重湯煎上ニテ軟化シ、之ニ炭酸「カリウム」粉末四十グラム(40g.)ヲ加ヘ、研和シテ均等ノ物質ヲ生スルニ至リ、強度ノ「アルコホル」ヲ加

へ、生成セル脂肪酸「カリウム」ヲ浸出シ、能ク沈澱セシメタル後濾過シ、此ノ濾液ヲ蒸發シテ「アルコホル」分ヲ除去シタルモノヲ、五十六容量プロセントノ「アルコホル」ニ溶解ス。

(一) 「クロールバリウム」溶液

空氣中ニテ乾燥シタル純「クロールバリウム」($\text{BaCl}_2 + 2\text{H}_2\text{O}$) 〇・五二二グラム (0.523g.) ヲ蒸餾水ニ溶解シテ全容積ヲ一リートル (1L) トナス。

(二) 標準石鹼液

「クロールバリウム」溶液百立方センチメートル (100c.cm.) ニ對シ、石鹼溶液四十五立方センチメートル (45c.cm.) ヲ消費スル様、石鹼原液ヲ五十六容量プロセントノ「アルコホル」ヲ以テ稀釋ス、而シテ本液四十五立方センチメートル (45c.cm.) ハ水百立方センチメートル (100c.cm.) 中ノ酸化「カルチウム」(CaO) 十二ミリグラム (12mg.) 即チ硬度十二度ニ相當ス。

十四、蒸發残渣

豫メ秤量セル磁製蒸發皿ニ檢水二百五十立方センチメートル (250c.cm.) ヲトリ、重湯煎上ニ蒸發乾燥シ、之レヲ蒸氣乾燥器ニ移シ百度ノ溫ニテ一時間乾燥シタルモノヲ除濕器ニ入レ冷却シテ秤量シ、更ニ蒸氣乾燥器ニテ一時間乾燥シテ秤量シ、コレヲ反覆シテ前後ノ重量ノ差異ナキニ至リ茲ニ得タル重量ヨリ蒸發皿ノ重量ヲ減シタル差ニ、四ヲ乘スル時ハ檢水一リートル (1L) 中ノ蒸

發残渣量ヲ得ルモノトス。

十五、鉛

檢水三乃至四リートル (3—4L) (鉛ノ含量小ナルトキハ更ニ多量) ヲ蒸發シテ、三十立方センチメートル (30c.cm.) トナシ、之ニ「クロールアンモニウム」溶液十乃至十五立方センチメートル (10—15c.cm.) 及ヒ「アンモニア」水數滴ヲ加へ、硫化水素ヲ通シタル後數時間 (出來得ヘクハ十二時間) 放置シ、尙少量ノ「アンモニア」水ヲ加へ、硫化水素ヲ通シタル後數分時間煮沸シテ濾過シ、沈澱ハ熱湯ヲ以テ數回洗滌シタル後濾紙ト共ニ蒸發皿ニ入レ稀硝酸ヲ加ヘテ煮沸シテ沈澱ヲ溶解シ再ヒ濾過洗滌シタル後、濾液及ヒ洗滌液ヲ蒸發皿ニ入レ蒸發シテ十乃至十五立方センチメートル (10—15c.cm.) ニ濃縮シ、放冷シタルモノニ硫酸五立方センチメートル (5c.cm.) ヲ加ヘテ硫酸蒸氣ノ發生スルニ至ル迄加熱ス。此ノ残渣ヲ水ヲ以テ僅ニ潤シ、五十容量プロセントノ「アルコホル」百五十立方センチメートル (150c.cm.) ヲ加へ、數時間 (出來得ヘクハ十二時間) 放置シテ硫酸鉛ヲ濾別シ、沈澱ハ五十容量プロセントノ「アルコホル」ヲ以テ洗滌ス。而シテ沈澱ヲ濾紙ト共ニ蒸發皿ニ入レ、醋酸「アンモニウム」溶液ヲ加へ煮沸シテ溶解シ、濾過シテ、少量ノ醋酸「アンモニウム」ヲ含ム熱湯ヲ以テ沈澱ヲ洗滌シ、濾液及ヒ洗滌液ヲ合シテ「ネスレル」管ニ入レ之レヲ二分シ其ノ一分ハ硫化水素水ヲ以テ處理シテ鉛ノ量ヲ概知シ、他ノ一分 (若シ鉛ノ量大

ナル時ハ其ノ二分ノ一、四分ノ一等)ニハ醋酸數滴竝ニ硫化水素水ノ過剰ヲ加ヘテ生シタル色相ヲ含量既知ノ鉛標準液ヲ右ト同様ニ處理シテ得タル液ノ色相ト比較ス。

試 藥

- 一 鉛ノ標準溶液、純硝酸鉛($Pb(NO_3)_2$)一・六グラム(1.6g.)ヲ蒸餾水ニ溶シ全容種ヲ一リットル(1l.)トス、此ノ溶液一立方センチメートル(1c.c.m.)ハ鉛(Pb)一ミリグラム(1mg.)ヲ含ム
- 二 鹽化アンモニウム溶液、二十五プロセント溶液。
- 三 醋酸アンモニウム溶液、五十プロセント溶液。
- 四、アンモニア水、
比重〇・九六。
五十プロセントノモノ。
- 五、醋酸、
- 六、硫化水素、
- 七、稀硝酸、
- 八、硫酸、

十六、鐵

檢水百立方センチメートル(100c.c.m.)ヲ採リ、蒸發乾燥シ、鐵ノ不溶性酸化物ヲ生セサル様注意シテ赤熱シ、放冷シタル後、鹽酸五立方センチメートル(5c.c.m.)ヲ加ヘ、蒸發皿ノ内面ヲ、ヨク

濕シ、二乃至三分時間温メテ殘渣ヲヨク溶解シタルモノヲ「ネスレル」管ニ移シ五十立方センチメートル(50c.c.m.)ニ稀釋シ、必要アラハ豫メ蒸餾水ヲ以テ濕シタル濾紙ニテ濾過シ、五分ノ一定規過「マンガン」酸「カリウム」溶液三滴ヲ加ヘ、硫「チアンカリウム」溶液五立方センチメートル(5c.c.m.)ヲ加ヘヨク混和シタルモノヲ、標準液標準鐵鹽溶液ノ〇・〇五乃至四立方センチメートル(0.05—4c.c.m.)ニ鹽酸五立方センチメートル(5c.c.m.)ヲ加ヘ、五十立方センチメートル(50c.c.m.)ニ稀釋シ、五分ノ一定規過「マンガン」酸「カリウム」溶液及ヒ硫「チアンカリウム」溶液五立方センチメートル(5c.c.m.)ヲ加ヘテ混和シタルモノト比色檢定ス。

若シ檢水ノ有機物含量小ナル時ハ檢水五十立方センチメートル(50c.c.m.)ニ硝酸六立方センチメートル(6c.c.m.)ヲ加ヘ五分時間煮沸シタル後放冷シ、五分ノ一定規過「アンガン」酸「カリウム」溶液一乃至二滴、及ヒ硫「チアンカリウム」溶液五立方センチメートル(5c.c.m.)ヲ加ヘ、標準液ト其ノ色相ヲ比較スヘシ。但シ此際標準液ニハ鹽酸五立方センチメートル(5c.c.m.)ニ代フルニ硝酸六立方センチメートル(6c.c.m.)ヲ以テスヘシ。

過「マンガン」酸「カリウム」及ヒ酸ハ「クロール」含量大ナル水ニ於テハ鹽素ヲ遊離シテ黄色ヲ呈セシムルカ故ニ檢水ハ先ツ適當ニ稀釋スル必要アリ。

尙過「マンガン」酸「カリウム」ヲ過剰ニ加フル時ハ鹽素ト作用シテ同様ノ惡結果ヲ齎スモノト

ス。鹽酸及ヒ硫「チアンカリウム」溶液ノ容積ハ可及的精密ナルヲ要スコレ鹽酸ノ過剩ハ色相ヲ淡クシ硫「チアンカリウム」溶液ノ過剩ハ色相ヲ濃厚ナラシムルカ故ナリ。

試 藥

一 標準鐵鹽溶液

純粹ナル硫酸酸化鐵「アンモニウム」 $[\text{NH}_4\text{Fe}(\text{SO}_4)_2 \cdot 12\text{H}_2\text{O}]$ 〇・八六三グラム(0.863g)「或ハ硫酸酸化鐵カリウム」 $[\text{KFe}(\text{SO}_4)_2 \cdot 12\text{H}_2\text{O}]$ ナラハ(濾紙間ニ壓シテ充分濕氣ヲ除キタルモノ) 〇・九〇一グラム(0.901g)ヲトリ稀鹽酸二十立方センチメートル(20c.cm.)ヲ加ヘテ蒸餾水ニ溶解シ全容積ヲ一リートル(1l.)トナス。

本液一立方センチメートル(1c.cm.)ハ〇・一ミリグラム(0.1mg.)ノ鐵ヲ含有ス

二 硫「チアンカリウム」溶液

硫「チアンカリウム」ノ結晶二十グラム(20g.)ヲ蒸餾水ニ溶解シ、全容積ヲ一リートル(1l.)トナス。

三 稀鹽酸

比重一・一ノモノニシテ約二十プロセントノ「クロール」水素ヲ含ムモノ。

四 五分ノ一定規過「マンガン」酸「カリウム」溶液

過「マンガン」酸「カリウム」六・六グラム(6.6g.)ヲ蒸餾水ニ溶解シ、全容積ヲ一リートル(1l.)トナ

ス。

五 鹽 酸

六 硝 酸

十七、本法、五ノ(イ)、(ロ)、八、九ノ(ロ)、十ノ(ロ)十一、十三、十五及ヒ十六ハ必要ニ應シテ

三 施行スルモノトス。

但シ毎年源水及ヒ濾過水ニ就キテハ全試驗ヲ施スヘシ

第三 細菌學的試驗

試 驗 法

一、試驗用器具

イ、採 水 壺

細菌試驗用採水壺ハ密接スル磨合セサル硝子栓ヲ有スルモノニシテ、充分ニ洗滌シ紙ヲ以テ包ミタル後滅菌ス。尙運搬ニハ適當ノ函ニ入ルヘシ。

ロ、ピペット

ハ、稀釋用壺

ニ、「ペトリ」氏「シャレー」直徑九センチメートル(9cm.)ニシテ底部ハ可及的平坦ナルヘシ。

二ホ、酸 酵 管

内容ハ少ナクトモ試験ス可キ水ノ三倍容量ノ培養基ヲ入レ得ルモノヲ用フ。

二、培養基ノ材料

- イ、肉越幾斯 「リービヒ」氏肉越幾スヲ用フ。
- ロ、ペプトン 照内「ペプトン」其他同一ノ結果ヲ與フルモノナラハ他ノ「ペプトン」ヲ用フルモノナリ。
- ハ、糖 類 最モ純良ナルモノヲ用フ。
- ニ、寒 天 使用スル寒天ハ良質ノモノヲ用フ。
- ホ、膠 質 使用スル膠質ハ淡色ニシテ防腐劑ヲ含マス膠質培養基ノ融點ハ二十五度或ハ其以上ノモノトス。
- ヘ、一般藥品 其他培養基ニ用フル他ノ藥品ハ總テ化學的ニ純粹ナルモノヲ得ル様特別ノ努力ヲ要ス。

三、培養基ノ調製

イ、寒天培養基

「リービヒ」氏肉越幾斯十分、食鹽五分、「ペプトン」十分、竝ニ寒天十五分ヲ水千分ト共ニ、「コルベシ」ニ入レ「アウトクラフ」ニテ百三十度ニ加熱溶解セシメ、反應ヲ中性若クハ微弱「アルカリ」性（標示藥ハ「ロゾール」酸ヲ用フ）ニ調整シテ、六十度以下ニ冷却シタル時、卵白二個ヲ加ヘテ充分

攪拌シテ再ヒ「アウトクラフ」ニテ百三十度ニ加熱シ後濾過シテ得タル澄明液ヲ滅菌試験管ニ分チ綿栓ヲ施シ、更ニ「アウトクラフ」ニテ消毒ヲ行フ。

「リービヒ」氏肉越幾斯ノ代リニ、牛肉煎汁ヲ用フルモノナリ、其ノ製法左ノ如シ。

牛肉五百グラム (500g.) ヲ取り腱及脂肪ヲ去リ之ヲ細判シテ「コルベン」ニ入レ、一リートル (1l.) ノ水ヲ注キ直チニ重湯煎又ハ「コッホ」氏蒸氣消毒釜ニテ一乃至三時間煮沸シテ後濾過シ液量減少セル時ハ更ニ水ヲ加ヘテ一リートル (1l.) トナス。

ロ、膠質培養基

肉越幾斯十分、食鹽五分、及ヒ「ペプトン」十分ヲ水千分ト共ニ鍋ニ容レ、次ニ秤量前一時間百五度ニテ乾燥シタル膠質百乃至二百五十グラム (100—250g.) ヲ加ヘテ六十五度ニテ膠質カ全部溶解スルマテ徐々ニ熱シ消失シタル蒸發水量ヲ補足シ反應ヲ中性或ハ微弱「アルカリ」性（標示藥ハ「ロゾール」酸ヲ用フ）トナシ、之レヲ澄明ニナルマテ濾過シ、次テ滅菌試験管ニ分チ更ニ之レヲ三日間三十分宛「コッホ」氏蒸氣消毒釜ニテ滅菌ス、或ハ「アウトクラフ」ニテ十五ボンド（百二十度）ノ壓ニテ十五分間滅菌ス。

四、檢水ノ採酌及保存

檢水ハ必ラス滅菌採水壺ニ採リ、採酌後可及的早ク試験スヘシ。

採酌位置ニ於テ培養ヲ實行シ能ハサル場合ニハ、可檢水ヲ氷ヲ詰メタル冷器内ニ保存スヘシ。
但シ此ノ場合ト雖モ三時間ヲ超過スヘカラス。

五、平板培養法

聚落數檢査ニ用フル平板培養ニハ寒天培養基又ハ膠質培養基ヲ用フ、但シ使用シタル培養基ノ種類ハ備考欄ニ記スヘシ。
濾過水ハ各一種ニツキ一立方センチメートル(1c. cm.)宛1個ノ「ペトリー」氏皿ニ注キ、之レニ豫メ溶解シタル四十五度内外ノ寒天又ハ膠質培養基ヲ加ヘ、靜カニ動搖シテ能ク混和セシム。
源水又ハ沈澱池ノ水ニシテ、細菌含量多數ナルモノハ殺菌水ヲ以テ適宜稀釋シ、然ル後培養ヲ行フモノトス。

培養溫度ハ寒天培養基ナルトキハ攝氏三十七度、膠質培養基ナルトキハ二十度トス。

六、聚落數計算法

イ、聚落數ノ計算ハ寒天平板ノ場合ハ、培養後二十四時間、膠質平板ノ場合ハ四十八時間ニ於テス但シ本文以上ノ時間ヲ經過シタル時ハ其ノ旨ヲ備考欄ニ記スヘシ。

ロ、聚落多數ニシテ、各個ノ計算困難ナルトキハ平均法ヲ用フルコトアルヘシ。

ハ、絲狀菌ノ聚落ハ加算セス。

第四 飲料適否ノ判定

左ノ數項ノ一ニ該當スルモノハ飲料ニ適セサルヲ以テ直ニ改善ノ方法ヲ實行シ、其ノ間ハ必ス煮沸ノ後飲料ニ供セシムヘシ。

- 一、外觀ノ異常アルモノ
- 二、異臭味アルモノ
- 三、直ニ亞硝酸及「アンモニア」ノ反應ヲ呈スルモノ
- 四、過マンガン酸カリウム消費量十ミリグラム以上ノモノ
- 五、細菌聚落數百一個以上ノモノ、但シ土地ノ狀況ニ依リ百五十一又ハ二百一個以上トナスコトアルヘシ
- 六、反應、クロール、硫酸、硝酸、固形物總量、硬度ノ異狀アルモノ又ハ鉛ヲ檢出スルモノハ適宜其ノ良否ヲ判定シ、其ノ他異常成分、病原的細菌混在ノ疑アルトキハ特ニ試験ヲ施シ判定ノ上改善ノ方法ヲ施行スルコト

附

大腸菌試驗法

大腸菌ハ乳糖ヲ分解シテ瓦斯ヲ發生シ、且ツ固形培養基上ニテ好氣的ニ生育スル所ノ無芽胞性

桿菌ヲ包含スルモノトス、本試験ニ要スル培養基及ヒ其ノ製法左ノ如シ。

イ、遠藤氏培養基

三プロセント(3%)ノ中性寒天培養基千立方センチメートル(1000c.cm.)ニ十プロセント(10%)炭酸「ナトリウム」液、十立方センチメートル(10c.cm.)ヲ加ヘテ「アルカリ」性トナシ、次テ純良ナル乳糖十グラム(10g.)「フクシン」ノ酒精飽和液五立方センチメートル(5c.cm.)ヲ加ヘ然ル後新製シタル十プロセント(10%)無水亞硫酸「ナトリウム」液二十五立方センチメートル(25c.cm.)ヲ加ヘテ微カニ淡紅色トナシ、「コッホ」氏蒸發氣消毒釜ニテ消毒シ、或ハ滅菌試験管ニ十立方センチメートル(10c.cm.)宛注キ、或ハ滅菌「ペトリ」氏皿ニ注キテ平板トナシ固定後逆轉シテ冷暗處ニ貯フヘシ。

ロ、乳糖加「ペプトン」水

「ペプトン」十分、食鹽五分、ヲ水千分ニ溶解シ、之レヲ「アフトクラフ」ニテ滅菌シテ反應ヲ中性トナシ、冷後〇・五プロセント(0.5%)ノ乳糖ヲ加ヘ各十立方センチメートル(10c.cm.)宛試験管ニ分與シ「アフトクラフ」ニテ十五「ポンド」ニ十五分、又ハ「コッホ」氏蒸氣消毒釜ニテ三十分宛三日間消毒ス。

一、遠藤氏寒天平板培養法

檢水一立方センチメートル(1c.cm.)ヲ「ペトリ」氏皿ニ注キ豫メ溶解シタル遠藤氏寒天培養基ヲ加ヘ、靜カニ動搖シテ能ク混和セシム。

培養溫度及ヒ聚落數計算ハ前記ニ從フ、但シ聚落ハ遠藤氏寒天培養基ヲ赤變スルモノノ中大腸菌トシテノ其他ノ性質ヲ具備スルモノノミヲ計算スヘシ。

二、推定試験

イ、醱酵管ニ檢水ノ適當量ヲ容レ次ニ檢水ノ少クトモ三倍量ノ乳糖加「ペプトン」水ヲ加フ。

一、是等ノ醱酵管ヲ三十七度ニ於テ四十八時間培養シ、二十四時間、四十八時間毎ニ檢シ、瓦斯發生量ヲ記スヘシ、其ノ記入ノ要項ハ次ノ如シ。

1、瓦斯發生ノ有無

2、閉管部ノ十プロセント(10%)以下ノ瓦斯發生量、

3、閉管部ノ十プロセント(10%)以上ノ瓦斯發生量、

ハ、二十四時間以内ノ瓦斯發生量カ醱酵管ノ閉管部ノ十プロセント(10%)以上ナル時ハ推定試験陽性ナリトス。

ニ、二十四時間ニテ瓦斯發生量皆無ナルカ、或ハ十プロセント(10%)以下ナレハ更ニ二十四時間培養ヲ持續ス。

ホ、四十八時間培養後瓦斯發生ナキ場合ハ試験ハ陰性ナリトス。

三、部分的確定試験

イ、四十八時間培養後檢水ノ最少量ヨリ瓦斯發生ヲ示ス所ノモノニツキ、遠藤氏培養基ニテ平板培養ヲ作ル。例ヘハ試験ニ用ヒタル水ノ量カ十立方センチメートル(10c.cm.)一立方センチメートル(1c.cm.)、〇・一立方センチメートル(0.1c.cm.)ナル時瓦斯ノ發生カ十立方センチメートル(10c.cm.)一立方センチメートル(1c.cm.)ノモノニ於テ發生シ、〇・一立方センチメートル(0.1c.cm.)ニ發生セサル時ハ此ノ試験ハ只一立方センチメートル(1c.cm.)ノモノニツキ行フ。

ロ、平板ハ三十七度、十八乃至二十四時間培養ス。

ハ、此ノ時間内ニ平板上定型的赤變聚落ヲ見ル時ハ部分的確定試験ハ陽性ナリトス。

ニ、併シ二十四時間以内ニ定型的聚落カ現ハレサル場合ト雖モ、必ラスシモ陰性ナリト決定スルヲ得ス、何トナレハ大腸菌ハ遠藤氏培養基ニ於テ其ノ出現カ徐々ナル事アルヲ以テナリ。斯カル場合ハ次ノ試験ヲ行フヘシ。

四、完全試験

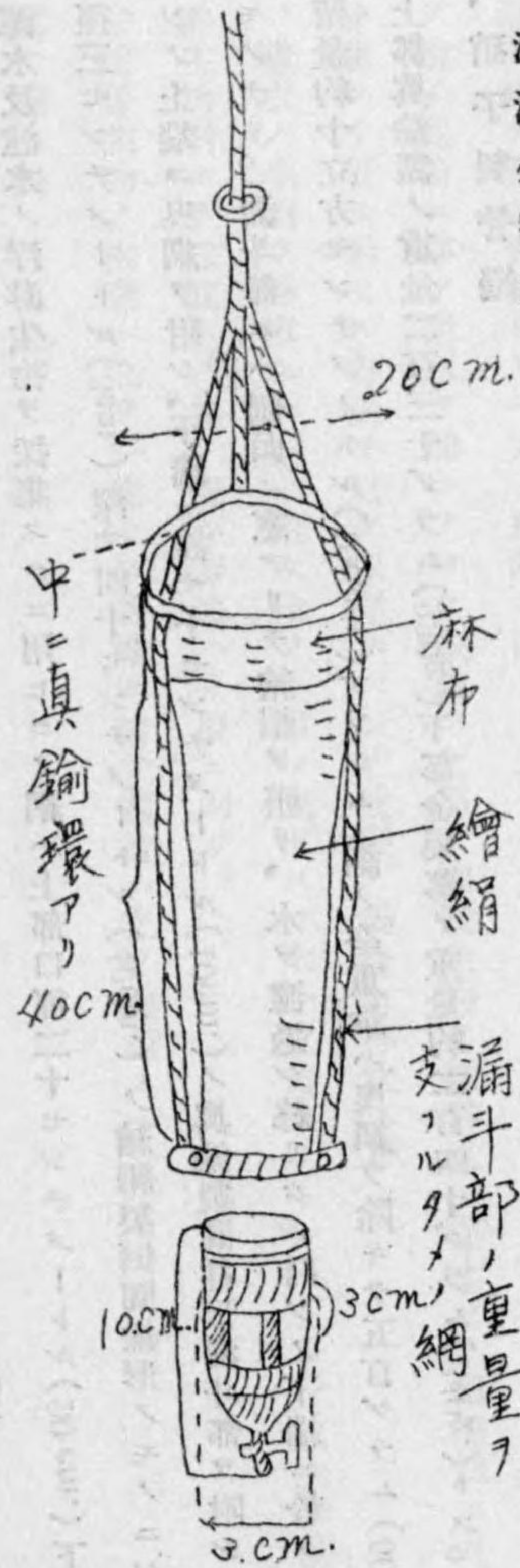
イ、前二項ノ遠藤氏平板培養ヨリ定型的聚落ヲ少クトモ、二個鈎菌シ、各々寒天斜面及ヒ乳糖肉汁酸酵管培養ヲ行フ。

ロ、前二項ニ於ケル二十四時間以内ニ遠藤氏平板上ニ定型的聚落ヲ生セサル場合ハ更ニ二十四時間培養シ、然ル後例ヒ定型的ノモノナラストモ、最モ大腸菌ニ近キ聚落ヲ少ナクトモ、二個鈎菌シテ寒天斜面ト乳糖肉汁酸酵管試験ヲ行フ。
ハ、斯クシテ接種シタル乳糖肉汁酸酵管ハ瓦新發生カ生スル迄培養シ(但シ四十八時間ヲ超過スル要ナシ)寒天斜面ハ三十七度、四十八時間培養ス。乳糖肉汁ニ於テ瓦斯ヲ發生シ、且ツ顯微鏡的試験ノ結果無芽胞性桿菌ヲ證明スル時ハ陽性、然ラサル場合ハ試験ノ結果ハ陰性ナリトス。

附二、生物學的試驗法

一、試驗用器具

イ、浮游生物網



源水及濾水ノ浮游生物ヲ採集スルニ用ヒコノ網ハ上部口徑二十センチメートル(20 cm.)下端口徑三センチメートル(3 cm.)深サ四十センチメートル(40 cm.)ノ繪絹製倒圓錐形ノモノニシテ、ソノ上端ニ曳網ヲ附シ、下端ニ高サ十センチメートル(10 cm.)ノ眞鍮製圓柱形漏斗部ヲ附シタルモノナリ。漏斗部ニハ側面ニ窓アリテ繪絹ヲ張り、水ヲ濾過シ終リタル時ソノ下端ニ於ケル殘留量約十立方センチメートル(10 cc.)ナラシム。網ノ全重量ハ曳網ヲ除キテ五百グラム(500 g.)上部眞鍮製ノ重量二百三十グラム(330 g.)下部金屬部ノ重量約二百四十グラム(240 g.)トス。

ロ、硝子製管罎

採集セル浮游生物ヲ保存スルニ用ヒ、口徑二センチメートル(2 cm.)高サ八センチメートル(8 cm.)ノ圓筒形硝子罎ニシテコルク栓ヲ附ス。

ハ、計數用具

採集濃縮セル生物ノ計數ニ用フルモノニシテ、載物硝子、眞鍮製杓(深サ一ミリメートル(1 mm.)内容一立方センチメートル(1 cc.))及覆蓋硝子ヨリナル。

二、採集法

イ、沈澱池及濾過池源水ノ浮游生物ヲ採集スルニハ前記ノ浮游生物網ヲ以テ池畔ニ立ち、先ヅ曳網ノ上端ヲ手頸ニ縛シ置キ、岸ニ直角ヲナセル方向ニ曳網ノ全長ヲ引張ル様ニ出シ、網カ水面

ニ落チテ沈マントスル時ヲ見計ヒ曳網ヲ引キテ網カ水面下約十乃至二十センチメートル(10—20 cm.)ノ邊ヲ横ニ動ク様ニ手操リ寄セ岸ヲ離ルル一メートル(1 m.)許リノ所ニ來レル時急キ引揚ケテ流出スル水ヲナルヘク地上ニ落スヤウニス、右ノ採集ニ當リ網カ水中ヲ動ク距離ハ一回ニ五米(5 m.)ナル様ニシ、同法ヲ反復スルコト六回ニシテ止メ水ノ充分濾出シ去ルヲ待チテ下端ノ活栓ヲ開キテ殘留セル水及採集生物ヲ豫メ十パーセント(10%)「フオルマリン」水五立方センチメートル(5 cc.)ヲ入レタル保存容器ニ移ス。

ロ、濾過層内ノ生物ヲ採集スルニハ底土押取器ヲ竿ノ先ニ固定シ濾過池中ノ代表的地點ヲ選ヒテ二十五立方センチメートル(25 cc.)ヲ採取スルカ又ハ濾過池削取前水ヲ落シタル直後砂層ノ垂直断面ヲ作り表面ヨリ一定ノ距離ヲ置キテ二十五立方センチメートル(25 cc.)ノ砂ヲ採リ之ヲ硝子圓筒ニ移シ清水ヲ加ヘテヨク振盪シ上部ノ細微生物ヲ細砂又ハ泥土ヨリ傾瀉法ニヨリテ分離シイ項ニ示セル方法ヲ以テ保存スベシ。池底ノ場合モ亦之ニ準ス。

ハ、濾水ノ生物ヲ採取スルニハ給水栓ヲ全開シ流出スル水一立方メートル(1 c.m.)以上ヲ前記浮游生物網ニテ採取ス。其ノ保存方法ハイ項ニ同ジ。

ニ、附著生物ノ検査ハ之ヲ一定セズ各地ニ於テ適當ニ之ヲ施行スヘシ。

三、試驗法

採集生物ノ試験ハ左記甲乙ノ二法ノ何レカニ據ルヘシ。

甲、右法ニヨリ保存硝子管中ニ採集セル生物ハ各々之ヲヨク混和シ其一立方センチメートル (1ccm.) ヲ所定ノ計數室ニ收メテ個數計算法ヲ行フ。則チ生物ノ種屬ヲ辨別シ各生物ノ個數ヲ計測シ之ヲ十倍シテ記録スヘシ。

乙、浮游生物ノ總量ヲ定ムルニハ「フオルマリシ」投入後管繼ヲ直立シテ三十分ヲ經テ沈澱量ノ多少ニヨリ左ノ等級ヲ附ス。(コレヲ總量示數ト稱ス)

- 1、少量
- 2、稍々多量
- 3、多量
- 4、甚ダ多量
- 5、極メテ多量

細微ナル採集物ヲ檢鏡スルニハ採集物ノ容レル管繼ヲトリ「ビベット」ニテ適當ニ攪拌シタル後ソノ中心部ニテ水約〇・五立方センチメートル (0.5ccm.) ヲ「ビベット」内ニ吸ヒ上ゲコレヲ小時計皿又ハ種痘皿内ニ吹キ出シ顯微鏡下ニ齎シ、動植物ノ屬種ヲ檢定シ、其ノ結果數量ノ多少ニヨリテ各種毎ニ左ノ五等級ノ一ニ該當セシム(コレヲ種屬量示數ト稱ス)。

- 1、稀ニアルモノ
- 2、少シクアルモノ
- 3、稍々多クアルモノ
- 4、多キモノ
- 5、甚ダ多キモノ

一方ニ種屬名ヲ記シ他方ニ時日ヲ記シテ作りタル表中ニ前記兩示數ノ積ノ數字ヲ記入ス。

例ヘハ某日ノ採集物中ニナル動物「稍々多ク」アリ(即チ種屬量示數3)テ同日ノ總量「稍々多量」(即チ總量示數2)ナリトセハ3x2=6即チ6ヲ記入スルモノトス。

生物名ノ記入ハ屬名ヲ單位トシ其ノ不明ナルモノハ科、亞目、又ハ目名ヲ記入スヘシ。

統計諸表様式

(大正十一年第十九回上水協議會ニ於テ議決
大正十五年第二十三回上水協議會ニ於テ第十二表改正議決
昭和三年第二十五回上水協議會ニ於テ水質試驗表ニ水温欄挿入議決)

第一、工事、工費並規模 前年度末現在

【備考】

- (一) 増設ノ分ニ對シテハ第一、第二、第三ノ順ヲ逐ヒ其ノ起工、竣工年月ヲ列記スルコト
- (二) 計畫中又ハ工事中ノモノハ「工費」欄ニ豫算ヲ掲グルコト
- (三) 豫定給水人口、豫定一人一日平均給水量、極度一日總給水量ハ創設及擴張ヲ合シタル現在設備ニ依ルモノヲ記入スルコト

水道名	起工年月	竣工年月	工費	計		畫
				豫定給水人口	平均給水量	
				豫定一人一日 平均給水量 リットル	極度一日總給水量 立方米	

第二、水源、水路 前年度末現在

(其一) 水源

水道名	河又ハ湖沼等ノ名稱	表面水、伏流水、地下水等ノ區別	最大濁水時季水重 <small>毎秒リットル</small>	取入方法	摘	要
-----	-----------	-----------------	-----------------------------------	------	---	---

(其二) 鑿井

水道名	個數	口徑	井ノ深	一晝夜最大水量	一晝夜最少水量
-----	----	----	-----	---------	---------

(其三) 原水貯水池

水道名	池數	堰堤ノ體質	總高	總長	滿水面下ノ深	總貯水量	總水面積
-----	----	-------	----	----	--------	------	------

(其四) 導水路

水道名	總延長	上幅	下幅	水深	水管延長	內譯
-----	-----	----	----	----	------	----

第三、淨水場 前年度末現在

(第一) 沈澄池

水道名	池數	總容積	上部長	下部長	上部幅	下部幅	總深	有效水深
-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	----	------

(其二) 濾過池

水道名	池數	面積	上部長	下部長	上部幅	下部幅	總深	濾床厚	一晝夜濾過速度
-----	----	----	-----	-----	-----	-----	----	-----	---------

(其三) 淨水池

水道名	池數	總容積	上部長	下部長	上部幅	下部幅	總深	有效水深
-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	----	------

第四、唧筒

前年度末現在

(其一) 取水唧筒

水道名	臺數	名稱	型式	原動力	製造所名	一臺ノ工率	最大揚水落差	一臺一晝夜ノ最大揚水量
						キロワット	米	立方米

(其二) 送水唧筒

水道名	臺數	名稱	型式	原動力	製造所名	一臺ノ工率	最大揚水落差	一臺一晝夜ノ最大送水量
						キロワット	米	立方米

第五、水管竝水壓

前年度末現在

水道名	鐵管、木管、 鋼筋混凝土 管等ノ區別	配給水管延長		設計	一平方裡水壓 實際
		以上	以下		
		千二百	千九百		最低
		千八百	千七百		最高

第六、經常收支

【備考】 支出ニハ水道事務費、水源水路費、諸池費、唧筒運轉費、鐵道維持費等水道經營ニ要スル經常費ノミヲ掲ケ各戶給水ニ要スル給水工事費及之ニ關スル事務費等ヲ除外シ雜支出中ニハ休退職並死亡給與金、水質試驗費等ノ雜費ヲ計上スルコト

(其一) 收入

水道名	放任給水料		計量給水料		雜收入	合計
	專用	共用	普通計量	特別計量		
	本年度	前年度	本年度	前年度	本年度	前年度
	算	算	算	算	算	算

(其二) 支出

水道名	事務費		水源水路費		淨水場費		水管維持費		雜支出		合計
	本年度	前年度	本年度	前年度	本年度	前年度	本年度	前年度	本年度	前年度	
	算	算	算	算	算	算	算	算	算	算	算

第七、配水實費 前年度末現在

水道名	經常費			決算		配水總量 配水一立方 米ニ對スル 實費	配水一立方 米ニ對スル 二對スル 噸筒費
	事務費	水源水路費	淨水場費	水管維持費	雜支出		

第八、水道卜河井卜ノ使用比較 前年度末現在

水道名	給水區域内總戶口數		水道使用戶口數		掘井數	掘井又ハ河水 等ノ水質概況
	戶數	人口	戶數	人口		

第九、水質試驗表

【備考】 數位小數ハ三位迄ヲ掲クルコト

(其一)

濾過水質試驗成績

水道名	昭和 年												平均
	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	
數氏	高低均												高低均
回(攝)	最平												最平
驗溫度	最平												最平
濁度	最平												最平
臭味	最平												最平
反應	酸性「アルカリ」性												酸性「アルカリ」性
兒魯格	最平												最平
亞安	最平												最平
硬	最平												最平
固形物	最平												最平
總量	最平												最平
滿色	最平												最平
菌數	最平												最平
細落	最平												最平
備考													

第十、源水濾過水比較試驗成績

【備考】 數位小數ハ三位迄ヲ掲クルコト

水道名													
昭和	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	平均
年	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	均
降													
雨													
量													
細菌數													
格魯兒量													
ンカメレオ													
固形物總量													
備考													

水道名	源水				沈澄池				濾過池				市内栓			
	檢	水	種	類	源	水	沈	澄	池	濾	過	池	市	內	栓	
數氏)	試	驗	回	數												
高低均	水	溫	(攝	氏)												
最平	色	度	最													
最平	濁	度	最													
最平	臭	味	最													
酸性	反	應	中													
弱性	格	魯	微													
弱性	兒	兒	ル													
弱性	硫	母	ア													
弱性	硝	度	リ													
弱性	亞	硬	ア													
弱性	安	固	リ													
弱性	母	形	リ													
弱性	尼	物	リ													
弱性	最	量	リ													
弱性	平	過	リ													
弱性	最	加	リ													
弱性	平	色	リ													
弱性	最	細	リ													
弱性	平	菌	リ													
弱性	最	落	リ													
弱性	平	數	リ													
弱性	最	備	リ													
弱性	平	考	リ													

(水道名)										
(十二) 水質完全分析成績										
年月日										
検査種類	水源					濾過水				
	春	夏	秋	冬	平均	春	夏	秋	冬	平均
試験季節										
試験月日										
温度	水温									
	气温									
濁度										
色度										
臭味										
反應	アルカリ度									
	酸度									
クロール										
硫酸 (SO ₃)										
硝酸 (N ₂ O ₅)										
亞硝酸 (N ₂ O ₃)										
アムモニア性窒素										
蛋白アムモニア性窒素										
過マンガン酸カリウム消費量										
硬度	一時硬度									
	永久硬度									
蒸發残渣										
鉛 (Pb)										
鐵 (Fe)										

水道名										水道名	
平均	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年次	
										人口	
										戸數	
										給水 栓數	
										患者 死亡	虎列拉
											腸室扶斯
										患者 死亡	赤痢
											三病 患者 總數
										萬人 口 對 十 者 割 合	
										患者 死亡 總數	三病 死亡 總數
											萬人 口 對 十 者 割 合
										備考	

第十一、水ニ因スル三病比較表

●上水道職工工夫取締同盟規約

(明治四十二年第六回上水協議會ニ於テ決議)

第一條 上水協議會ニ加盟セル各廳相互ノ便益ヲ謀ル爲上水工事ニ使役スル職工工夫ニ關シ本同盟規約ヲ締結ス

第二條 本規約ニ於テ職工工夫ト稱スルハ鐵工、鉛工其他ノ職工工夫ヲ云フ

第三條 同盟各廳ハ職工工夫ノ需用又ハ不用ニ關シ相互通知ヲ以テ融通上ノ利便ヲ謀ルノ義務ヲ有ス

第四條 從前他ノ同盟應ニ於テ使役シタル職工工夫ヲ備使セントスルトキハ最近使役應ノ承諾ヲ求ムルヲ要ス但シ一箇年間ヲ經過シタルモノハ此ノ限ニアラス

第五條 不都合ノ行爲アリタルカ爲職工工夫ヲ解備シタルトキハ同盟各廳ハ互ニ即時通知スルノ義務ヲ有ス但シ本條ノ職工工夫ハ滿一箇年間各應ニ於テ使役スルコトヲ得ス

第六條 同盟應ヨリ職工工夫需用ノ通知ヲ受ケタルトキハ其需用ヲ充タシタル後ニアラサレハ同盟應以外ノ需用ニ應スルコトヲ得ス

第七條 他ノ同盟應ニ就職中ノ職工工夫ヲ採用セシコトヲ發見シタルトキハ直チニ解備スヘシ

第八條 同盟各應ニ於テ職工工夫ノ待遇上ニ關シ設定セル規定(内規ヲ含ム)ハ互ニ通知スヘシ

第九條 同盟應ニシテ本規約ニ違背ノ行爲アリタルトキハ其關係應又ハ之ヲ知リタル應ヨリ上水協議會ニ報告シ其ノ處分方ノ決議ヲ請求スルモノトス

第十條 同盟以外ノ應ニ本同盟規約ニ抵觸ノ行爲アリタルトキハ前條ノ手續ニ依テ上水協議會ヨリ當該應ニ警告ヲ與フルモノトス

●加盟各所ハ加盟ノ際濾過用細砂及水菌培養ヲ交換スルコト (明治四十二年第六回上水協議會ニ於テ決議)

但シ砂種ヲ變換シ又ハ新ニ水菌種ヲ得タルトキハ追加分配スルコト

●加盟各所ハ每年上水協議會ニ於テ水道使用條例ヲ交換スルコト (大正元年第九回上水協議會ニ於テ決議)

●當番所ハ陸海軍省醫務局、内務省並東京、京都、東北及九州ノ各大學へ案内スルコト

(大正元年第九回上水協議會ニ於テ修正決議(陸海軍省醫務局ヲ加フ)
大正二年第十回上水協議會ニ於テ修正決議(各大學ヲ加フ))

●統計類及議事録配付部數 (第十九回上水協議會ニ於テ決議)

一、議事録

一箇所二部、外ニ各出席員ニ一部宛トス

二、統計類

一箇所最少三部トシ各會員ノ會費負擔額ニ按分シテ其ノ部數ヲ定ム但シ計算上一部當ニ滿タサル會費額ノ端數ヲ生シタルトキハ其ノ半額以上ノモノハ之ヲ一部トシ半額ニ滿タサルモノハ切捨ツ以上部數ノ外配本ヲ希望スルモノニハ實費ヲ以テ願ツコトヲ得

上水協議會ノ職員

理事 昭和二年十月第二十四回
上水協議會ニ於テ改選重任

東京市長 堀切善次郎

東京市助役 廣瀬久忠

輔佐

東京市副収入役 小木千丈

東京市水道局長 小川織三

東京市主事 武藤麒麟郎

同 荒牧練太郎

東京市事務員 原田與作

同 西岡義男

同 昭和四年六月十一日任命 秋山忠治

同 大正十五年六月十六日任命 石瀬與作

筆生 昭和四年六月一日任命 中井春雄

昭和四年度上水協議會歳入出豫算

歳入

一金貳萬壹千壹百五拾參圓

歳入豫算總額

歳出

一金貳萬壹千壹百五拾參圓

歳出豫算總額

差引殘金ナシ

昭和四年度上水協議會歳入出豫算

昭和四年度上水協議會歲入出豫算

歲入

歲入合計	一 上水協議會費收入			二 繰入金		
	一 會費收入	二 利子收入	三 雜收入	一 積立金繰入	二 積立金處分	三 雜收入
二、二五三	一九七五 _四	一八六七 _九	六〇〇	一、四〇〇	一、四〇〇	四七四
	種目	種目	種目	種目	種目	種目
	金額	金額	金額	金額	金額	金額
	附記	附記	附記	附記	附記	附記
	種別及箇數	種別及箇數	種別及箇數	種別及箇數	種別及箇數	種別及箇數
	單位	單位	單位	單位	單位	單位
	金額	金額	金額	金額	金額	金額

歲出
經常部

豫算	一 上水協議會費			二 雜給			三 需用費		
	種目	種目	種目	種目	種目	種目	種目	種目	種目
一六、〇二九 _四	一 給料	二 雜給	三 需用費	一 給料	二 雜給	三 需用費	一 給料	二 雜給	三 需用費
	金額	金額	金額	金額	金額	金額	金額	金額	金額
	附記	附記	附記	附記	附記	附記	附記	附記	附記
	種別及箇數	種別及箇數	種別及箇數	種別及箇數	種別及箇數	種別及箇數	種別及箇數	種別及箇數	種別及箇數
	單位	單位	單位	單位	單位	單位	單位	單位	單位
	金額	金額	金額	金額	金額	金額	金額	金額	金額

經常部計	豫算		臨時部						豫算	
	款	項目	豫算額	種目	金額	附	種別及箇數	單位	金額	
三 豫備費			七〇〇	六 雜費	二〇〇					
二 會議費			三,六〇四	五 速記料	九一四					
				四 諸手当	五〇〇					
				三 印刷	四〇〇					
				二 消耗品	一五〇					
				一 諸費	一,四四〇					
				四 雜費	三〇〇					
一六〇二九										

歲出合計	臨時部計	豫算		臨時部						豫算	
		款	項目	豫算額	種目	金額	附	種別及箇數	單位	金額	
二,一五三	五,二二四	二 調查費		二,五〇〇	一 依託調查費	二,五〇〇					
		一 事務費	一,二三四	一,二三四	一 印刷	四〇〇					
					二 旅費	七四					
					三 雜費	五〇					
		二 制水弁及排水氣弁調査費 額本年度支出	三,七二四	三,七二四							
		一 臨時調辨費	一,四〇〇	一,四〇〇	一 備品費	一,四〇〇					
		一 事務費	一,四〇〇	一,四〇〇							

昭和三年度
昭和四年度
上水協議會豫算對照表

歳入

豫算科目	昭和三年度		昭和四年度		三年度ニ比シ増減(△)	説	明
	款	項	款	項			
一、上水協議會費	收入	一八、五三三	一九、七五三	一、二二〇	△	本項ノ増加ハ會員ノ増加(六箇所)及昇級(五箇所)竝給水開始(二箇所)ニ伴フ負擔額ノ増加アリタルト豫算増額ニ伴ヒ會費ヲ増額シタルニ由ル	
一、會費收入		一七、三二七	一八、六七九	一、四六二	△	本項ノ減少ハ預金利率引下ノ結果ニ由ル	
二、利子收入		七二〇	六〇〇	一、二〇〇	△	本項ノ減少ハ前年ノ実績ニ鑑ミ印刷物實費配付收入ヲ見込ミタルニ由ル	
三、雜收入		五八六	四七四	一、一一二	△	本項ノ減少ハ前年ノ実績ニ鑑ミ印刷物實費配付收入ヲ見込ミタルニ由ル	
二、繰入金		〇	一、四〇〇	一、四〇〇			
一、積立金繰入		〇	一、四〇〇	一、四〇〇			
計		一八、五三三	二二、一五三	二、六二〇			

歳出(經常部)

豫算科目	昭和三年度		昭和四年度		三年度ニ比シ増減(△)	説	明
	款	項	款	項			
一、上水協議會費		一四、四三三	一六、〇二九	一、六〇六	△	本項ノ増加ハ通信郵送費、印刷費、旅費及雜費ノ増額ヲ見込ミタルニ由ル	
一、事務費		一〇、六五八	一二、七二五	二、〇六七	△	本項ノ増加ハ速記料ノ増額ヲ見込ミタルニ由ル	
二、會議費		三、三六五	三、六〇四	二、二三九	△	本項ノ増加ハ速記料ノ増額ヲ見込ミタルニ由ル	
三、豫備費		四〇〇	七〇〇	三〇〇	△	本項ノ増加ハ速記料ノ増額ヲ見込ミタルニ由ル	
經常部計		一四、四三三	一六、〇二九	一、六〇六			

(臨時部)

豫算科目	昭和三年度		昭和四年度		三年度ニ比シ増減(△)	説	明
	款	項	款	項			
一、事務費		〇	一、四〇〇	一、四〇〇	△	本項ノ増加ハ年割額ヲ計上シタルニ由ル	
二、臨時調辨費		〇	一、四〇〇	一、四〇〇	△	本項ノ増加ハ年割額ヲ計上シタルニ由ル	
三、制水弁及排氣弁調査費		二、五五〇	三、七二四	一、一七四	△	本項ノ増加ハ年割額ヲ計上シタルニ由ル	
一、事務費		五〇	一、三二四	一、二七四			

西宮市	石砂町	高崎市	長崎市	新發田市	新沼田市	高橋市	前橋市	沼田市	水戸市	宇都宮市	津島市	豊橋市	濱松市	熱海市
八二九二	八八九五	一七一五	三八五八	二二七五三	三三六二〇	三、八一七	一〇、二一七	五、五五一	一五、七五〇	一一、七六八	二、四七七	九、八五三	一六、〇九三	一〇、五二七
九	九	七	八	八	八	八	八	八	九	八	八	八	八	十
△						△							△	△
二〇	〇	〇	四〇	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	一
八四・三三九	八四・三三九	八四・三三九	八四・三三九	八四・三三九	八四・三三九	八四・三三九	八四・三三九	八四・三三九	八四・三三九	八四・三三九	八四・三三九	八四・三三九	八四・三三九	八四・三三九
五八・二八一	二九・一四二	二九・一四二	二九・一四二	二九・一四二	二九・一四二	二九・一四二	二九・一四二	二九・一四二	二九・一四二	二九・一四二	二九・一四二	二九・一四二	二九・一四二	二九・一四二
一四二・四二〇	一一三・二八〇	一一三・二八〇	一一三・二八〇	一一三・二八〇	一一三・二八〇	一一三・二八〇	一一三・二八〇	一一三・二八〇	一一三・二八〇	一一三・二八〇	一一三・二八〇	一一三・二八〇	一一三・二八〇	一一三・二八〇

京都市	大阪市	神戸市	名古屋市	函館市	小樽市	室蘭市	釧路市	八王子市	目黒市	澁谷市	青森市	峰山町	堺市	横須賀市	川崎市	尼崎市
一三九、四九二	五三、六三三	二〇、四二七	一四二、〇八三	一九〇、五七六	三四、四〇〇	二八、四〇四	一〇、一五三	八、五三五	九、九九九	二、三五七	二〇、五二六	一、八八二	九二一	二五、四九一	一八、七二八	一八、二二六
五	一	五	五	四	七	八	八	九	八	八	十	八	八	八	八	九
△								△								
六〇	一〇〇	六〇	六〇	七〇	四〇	三〇	三〇	二〇	一〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	二〇
八四・三三九	八四・三三九	八四・三三九	八四・三三九	八四・三三九	八四・三三九	八四・三三九	八四・三三九	八四・三三九	八四・三三九	八四・三三九	八四・三三九	八四・三三九	八四・三三九	八四・三三九	八四・三三九	八四・三三九
一七四・八四一	二九・一四二	一七四・八四一	一七四・八四一	二〇三・九九一	一六・五六一	八七・四二二	八七・四二二	五八・二八一	二九・一四二	二九・一四二	二九・一四二	二九・一四二	二九・一四二	二九・一四二	二九・一四二	二九・一四二
二五八・九八〇	三七・五五〇	二五八・九八〇	二五八・九八〇	二八八・三三〇	二〇〇・七〇〇	一七二・五六〇	一七二・五六〇	一四二・四二〇	一四二・四二〇	一四二・四二〇	一四二・四二〇	一四二・四二〇	一四二・四二〇	一四二・四二〇	一四二・四二〇	一四二・四二〇

宇松	九高	德和	宇下	福尾	吳廣	倉岡	松米	鳥金	福
和山	龜松	島歌	部關	山道	島敷	山江	子取	澤井	
島市	山市	山市	山市	山市	山市	山市	山市	山市	市
八七三	二〇二四	六二九一	一六四五八	一八三三五	二五六三二	一五二七一	二二五〇九	七五七八	六四九五
二九四一五	五二七四三	六二一三二	二八四二二	九四九九	六九〇三	七三三五	三三、五五八	一四、一四九	
九	八	九	八	八	八	九	九	九	七
△							△		
二〇	一五	二〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇
八四、三九	八四、三九	八四、三九	八四、三九	八四、三九	八四、三九	八四、三九	八四、三九	八四、三九	八四、三九
五八、二八	四三、七一	五八、二八	八七、四二	八七、四二	八七、四二	八七、四二	五八、二八	一四、五七〇	八七、四二
一四、二四〇	一四、二四〇	一四、二四〇	一四、二四〇	一四、二四〇	一四、二四〇	一四、二四〇	一四、二四〇	一四、二四〇	一四、二四〇

秋山	五青	平郡	若福	鹽仙	上上	松長	大谷	甲伊	加
田形	川森	山松	島釜	臺	諫	田本	野津	村府	盟
市市	市市	市市	市市	市市	市市	市市	市市	市市	所
八、一四二	一〇、七九九	一、五二〇	一四、三四五	四、六三三	八、六四五	七、八六三	七、六五〇	二、六〇〇	二、八二九
九	八	十	八	十	九	九	十	八	十
				△			△		△
二〇	三〇	一〇	三〇	一〇	二〇	一〇	二〇	三〇	五
八四、三九	八四、三九	八四、三九	八四、三九	八四、三九	八四、三九	八四、三九	八四、三九	八四、三九	八四、三九
五八、二八	八七、四二	八七、四二	八七、四二	八七、四二	八七、四二	八七、四二	八七、四二	八七、四二	八七、四二
一四、二四〇	一四、二四〇	一四、二四〇	一四、二四〇	一四、二四〇	一四、二四〇	一四、二四〇	一四、二四〇	一四、二四〇	一四、二四〇

加盟所名	昭和二年末現在戸數	級別	按分率	半額均分額	按分額	合計負擔額
高知市	二〇,九〇五	八	三〇	八四・三九	八七・四二	一七二・五六〇
福岡市	二八,三〇八	八	三〇	八四・三九	八七・四二	一七二・五六〇
久留米市	一五,九三三	八	一五	八四・三九	四三・七一	一二七・八五〇
門司市	二〇,六二四	八	三〇	八四・三九	八七・四二	一七二・五六〇
小倉市	一五,六七四	八	三〇	八四・三九	八七・四二	一七二・五六〇
若松市	一一,〇三二	八	三〇	八四・三九	八七・四二	一七二・五六〇
大牟田市	一四,〇一三	八	三〇	八四・三九	八七・四二	一七二・五六〇
飯塚市	七,二九二	八	二〇	八四・三九	五八・二八二	一四二・四二〇
大分市	一〇,二六三	八	三〇	八四・三九	八七・四二	一七二・五六〇
別府市	八,四五〇	九	二〇	八四・三九	五八・二八二	一四二・四二〇
中津市	四,八二〇	九	一〇	八四・三九	二九・二四二	一一三・二八〇
佐賀市	七,九九九	九	二〇	八四・三九	五八・二八二	一四二・四二〇
熊本市	二七,八一三	八	三〇	八四・三九	八七・四二	一七二・五六〇
鹿兒島市	二五,三九九	八	三〇	八四・三九	八七・四二	一七二・五六〇
那覇市	一五,九四四	八	一五	八四・三九	四三・七一	一二七・八五〇
朝鮮總督府	—	—	—	—	—	—
京城府	七〇,二八八	—	—	—	—	—
仁川府	一二,五七九	—	—	—	—	—

加盟所名	昭和二年末現在戸數	級別	按分率	半額均分額	按分額	合計負擔額
群山府	五,四七五	八	二〇	八四・三九	五八・二八二	一四二・四二〇
大邱府	一九,二二二	八	三〇	八四・三九	八七・四二	一七二・五六〇
釜山府	二四,八七八	八	三〇	八四・三九	八七・四二	一七二・五六〇
平壤府	二八,七八九	八	三〇	八四・三九	八七・四二	一七二・五六〇
元山府	七,一四六	九	二〇	八四・三九	五八・二八二	一四二・四二〇
新義州府	八,八〇四	九	二〇	八四・三九	五八・二八二	一四二・四二〇
統營府	五,八二七	九	二〇	八四・三九	五八・二八二	一四二・四二〇
臺灣總督府	三,九七〇	—	—	—	—	—
關東廳	—	—	—	—	—	—
豐原町	四,七九四	一〇	一〇	八四・三九	二九・二四二	一一三・二八〇
大泊町	四,六七四	一〇	一〇	八四・三九	二九・二四二	一一三・二八〇
荒玉水道町村組合	一四八,〇七一	—	—	—	—	—
江戶川上水町村組合	一四二,九九九	—	—	—	—	—
南滿洲鐵道株式會社	—	—	—	—	—	—
玉川水道株式會社	一〇七,二七三	—	—	—	—	—
日本電力株式會社	一一〇	—	—	—	—	—
湘南水道株式會社	五,五七二	—	—	—	—	—
計百十一箇所	—	—	—	—	—	—

歲出合計	科目		項目	預算額	種目金額	附記	
	款	項					
九三	一	上水協議會費		九三 ^四			
							二雜給
	一	事務費		一八 ^八	一〇〇		
	二	會議費		七 ^五	六 ^二		
				三 ^三			
							四諸手當
				九 ^二			

(說明)

本件ハ第二十四回上水協議會ノ決議ニ依リ水量メートル檢定實施ニ關スル對策委員會開催ノ爲既定豫算ニ不足ヲ生スルニ至リタルヲ以テ資源ヲ會費增收及準備金處分繰入ニ需メ豫算ノ追加ヲナセリ

自昭和三年度制水弁及排氣弁調査費更正繼續年期及支出方法
至昭和四年度

一金五千八百八拾參圓
一金六千貳百七拾四圓

既定制水弁及排氣弁調査費
更正制水弁及排氣弁調査費

內 譯

金貳千五百五拾圓
金貳千五百五拾圓
金參千參百參拾參圓
金參千七百貳拾四圓

昭和三年度既定支出額
同 年 度 更 正 支 出 額
昭和四年度既定支出額
同 年 度 更 正 支 出 額

(說明)

本調査費中昭和四年度ニ計上シタル調査顛末說明囑託員ノ旅費ハ同年度ノ會議ヲ内地ニテ開催セラルモノトシ豫計シタル處臺灣ニ決定シタルヲ以テ前記ノ通り更正セリ

自昭和三年度至昭和四年度制水弁及排氣弁調查費更正支出計算表

七八

科 款	項目	區分		昭和三年度	昭和四年度	計
		既定支出額	更正支出額			
一 制水弁及排 氣弁調查費	一 事務費	既定支出額	更正支出額	二,五五〇 ^四	三,三三三 ^四	五,八八三 ^四
		既定支出額	更正支出額	二,五五〇	三,七二四	六,二七四
	既定支出額	更正支出額	五〇	八三三	八八三	
	既定支出額	更正支出額	五〇	一,二三四	一,二七四	
二 調查費	二 調查費	既定支出額	更正支出額	二,五〇〇	二,五〇〇	五,〇〇〇
		既定支出額	更正支出額	二,五〇〇	二,五〇〇	五,〇〇〇
		更正支出額	更正支出額	二,五〇〇	二,五〇〇	五,〇〇〇

自昭和三年度至昭和四年度制水弁及排氣弁調查費更正支出計算表說明

科 款	項目	支出額	種 目	金額	附 種別及箇數	單 位	配 金額
一 制水弁及排 氣弁調查費		六,二七四 ^四					

昭和二年度上水協議會歲入出決算

歲入		歲出	
一金壹萬七千六百參拾七圓七錢	歲入	一金壹萬貳千六百九拾九圓九拾錢	經常部決算高
	入	一金貳千貳百四拾參圓八拾六錢	臨時部決算高
		合計金壹萬四千九百四拾參圓七拾六錢	
		歲入出差引	
		殘金貳千六百九拾參圓參拾壹錢	
		昭和二年度剩餘金	

七九

昭和二年度上水協議會歲入出決算

歲入

(△印ハ不足ヲ示ス)

科 目	款 項	豫算額	決算額	超過又 ハ不足	種 目	豫算額	決算額	附 屬 種 別 及 箇 數	單 位	金額 豫算	金額 決算	摘 要
一 上水協議會 費收入	一 會費收 入	一三、七五〇、〇〇〇	一三、七四三、九〇〇	一、九〇九、九五〇	第二十三回上水協議會議決	二、三六九、〇〇〇	二、三六九、〇〇〇					本項ノ超過セシハ退 會一ヶ所(川崎市田島町) アリタルモ入會十七 ヶ所(群山市外十六 ヶ所)アリタルニ由 ル
		二、六九〇、〇〇〇	二、七四三、九〇〇	一、四七三、九〇〇	二會費收入	二、三六九、〇〇〇	二、三六九、〇〇〇					
二 利子收 入	一 預金利子 收入	七〇〇、〇〇〇	五三三、四五〇	一七六、五五〇	第二十三回上水協議會議決	七〇〇、〇〇〇	五三三、四五〇					本項ノ不足セシハ預 金利率引下ケニ由ル
		七〇〇、〇〇〇	五三三、四五〇	一七六、五五〇	一預金利子 收入	七〇〇、〇〇〇	五三三、四五〇					
三 雜收入	一 印刷物實費 配付收入	七六四、〇〇〇	一、〇九六、五五〇	三三二、五五〇	第二十三回上水協議會議決	七六四、〇〇〇	八四三、五〇〇					本項ノ増加ハ第一目 ニ於テ印刷物實費配 付ノ豫定以上アリタル ト第ニ於テ印刷物 納入契約違約金熱納 物第ニ於テ熱納 町ヨリ前年度會費納 付アリタルニ由ル
		七六四、〇〇〇	一、〇九六、五五〇	三三二、五五〇	三 過年度會 費收入	〇	一六〇、八六〇	九〇三〇				
二 繰越金	二 繰越金	二、二七四、一〇〇	二、二七四、一〇〇	〇	第二十三回上水協議會議決	二、二七四、一〇〇	二、二七四、一〇〇					
一 繰越金	一 繰越金	二、二七四、一〇〇	二、二七四、一〇〇	〇	前年度繰 越金	二、二七四、一〇〇	二、二七四、一〇〇					
歲入合計		一六、〇三七、二一〇	一七、六三七、〇七〇	一、六〇九、九五〇								

歲出

(△印ハ超過ヲ示ス)

科 目	款 項	豫算額	決算額	超過又 ハ不足	種 目	豫算額	決算額	附 屬 種 別 及 箇 數	單 位	金額 豫算	金額 決算	摘 要
一 上水協議會 費	一 事務費	一三、七五〇、〇〇〇	一三、六九三、九〇〇	一、〇五三、一〇〇	第二十三回上水協議會議決	三、八〇〇、〇〇〇	三、三九四、八〇〇					本項ノ殘餘ヲ生セシ ハ第一目第二目及第 四目ニ於テ豫定迄ヲ 要セザリシニ由ル但 第三目ニ於テハ會員 増加ノ爲メ通信及郵 費並印刷費豫定以上 ヲ要シ超過セリ
		九、九七〇、〇〇〇	九、三六三、九〇〇	五七三、一〇〇	三 需用費	五、〇五〇、〇〇〇	五、二六〇、〇〇〇	四、七〇〇、〇〇〇				
二 給料	二 雜給	二、三九四、八〇〇	一、八四五、六〇〇	六〇九、二〇〇	第二十三回上水協議會議決	一、三九四、〇〇〇	一、三九四、〇〇〇					本項ノ殘餘ヲ生セシ ハ第一目第二目及第 四目ニ於テ豫定迄ヲ 要セザリシニ由ル但 第三目ニ於テハ會員 増加ノ爲メ通信及郵 費並印刷費豫定以上 ヲ要シ超過セリ
		一、九四〇、〇〇〇	一、八四五、六〇〇	六〇九、二〇〇	二 雜給	一、九四〇、〇〇〇	一、八四五、六〇〇	五五二、〇〇〇				
三 給料	三 需用費	二、三九四、八〇〇	一、八四五、六〇〇	六〇九、二〇〇	第二十三回上水協議會議決	二、三九四、八〇〇	一、八四五、六〇〇					本項ノ殘餘ヲ生セシ ハ第一目第二目及第 四目ニ於テ豫定迄ヲ 要セザリシニ由ル但 第三目ニ於テハ會員 増加ノ爲メ通信及郵 費並印刷費豫定以上 ヲ要シ超過セリ
		二、三九四、八〇〇	一、八四五、六〇〇	六〇九、二〇〇	三 需用費	二、三九四、八〇〇	一、八四五、六〇〇	五五二、〇〇〇				
歲出合計		一六、〇三七、二一〇	一七、六三七、〇七〇	一、六〇九、九五〇								

統

計

The right page contains a large, faint grid structure, likely a ledger or data table. The grid is composed of multiple columns and rows, with the text within the cells being illegible due to fading. The grid spans most of the width of the page.

第一、水道經營機關及職員

目次

一、東京市	三、青梅町	五、長岡市	七、谷村町	九、五所川原町
二、京都市	四、峰山町	六、高田市	八、大津市	一〇、山形市
三、大阪市	五、堺市	七、新發田町	九、松本市	一一、秋田市
四、橫濱市	六、橫須賀市	八、前橋市	一〇、上田市	一二、福島市
五、神戸市	七、川崎市	九、高崎市	一一、上諏訪町	一三、金澤市
六、名古屋市	八、名古屋市	一〇、沼田町	一二、仙臺市	一四、高岡市
七、函館市	九、明石市	一一、水戸市	一三、鹽釜町	一五、鳥取市
八、室蘭市	一〇、西宮市	一二、宇都宮市	一四、福島市	一六、米子市
九、釧路市	一一、高砂町	一三、津市	一五、若松市	一七、松江市
一〇、八王子市	一二、長崎市	一四、豐橋市	一六、郡山市	一八、岡山市
一一、目黒町	一三、佐世保市	一五、濱松市	一七、平町	一九、倉敷市
一二、澁谷町	一四、新潟市	一六、甲府市	一八、青森市	二〇、廣島市

水道經營機關及職員(目次)

六、吳市	六、若松市	九、平壤府
三、尾道市	七、大牟田市	三、鎮南浦府
三、福山市	六、八幡市	三、新義州府
六、下關市	五、飯塚町	四、元山府
五、宇部市	八、大分市	五、咸興面
六、和歌山市	八、別府市	六、豐原町
七、德島市	八、中津市	七、大泊町
六、高松市	三、佐賀市	六、朝鮮總督府
六、丸龜市	四、鹿兒島市	九、臺灣總督府
七、宇和島市	五、京城府	一〇、關東廳
七、高知市	六、仁川府	一〇、荒玉水道町村組合
七、福岡市	七、群山市	一〇、江戶川上水町村組合
七、久留米市	八、木浦府	一〇、南滿洲鐵道株式會社
七、門司市	八、大邱府	一〇、玉川水道株式會社
五、小倉市	九、釜山府	一〇、小樽市

水道經營機關及職員

昭和四年四月一日現在

一、東京市水道局

水道局長	局長	小川 織三	同鐵管工事掛長	同	永井 純一
庶務課長	主事	武藤 麒駛郎	淨水課事務掛長	同	眞 殿 麿
給水課長	技師	阿部 富久	同 淨水掛長	技師	仲田 聰治郎
淨水課長	同	岩崎 富久	同 機關掛長	同	寶田 一藏
擴張課長	同	小野 基樹	擴張課工事掛長	主事	天 埜 要藏
水源林事務所長	同	兒玉 晉	同 貯水池掛長	技師	菅 原 正志
庶務課庶務掛長	主事	荒牧 練太郎	同 淨水池掛長	技師	仲田 聰治郎
同 調度掛長	同	清水 義俊	同鐵管敷設掛長	同	島田 衍吉
同 量水器掛長	技師	松本 津	同 計畫掛長	同	小野 基樹
同 試驗掛長	同	田島 房四郎	同 取掛長	同	東 郷 郁之助
同 業務掛長	主事	草刈 新兵衛	同 橋出張所長	技師	紀 平 兼三郎
同 計理掛長	同	福原 敬治	同 出張所長	同	末 弘 盛一
給水課工事掛長	技師	牟田 寅次	同 出張所長	同	下 山 源次郎
同 設計掛長	同	木代 嘉樹	同 出張所長	同	堀 江 幸治郎
同 給水工事掛長	同	安西 景一郎	同 出張所長	同	大 野 三郎
			同 出張所長	同	米 溪 辰次郎

水道經營機關及職員

東京市衛生試驗所

所長事務取扱 技師 龜岡慶治
理化學試驗主任 同 酒井菊人
顯微鏡細菌試驗主任 同

二、京都市保健部水道課

保健部長 技師 市川達次郎
水道課長 同 能見光男
主事 平井砂

京都市衛生試驗所

衛生試驗所長 技師 原田四郎

三、大阪市水道部

部長 理事 島崎孝彦
庶務課長 主事 安川勝太郎
庶務係主任 主事 堀口周吉
同計理係主任 同 山本音治郎

四、橫濱市水道局

局長 堀江勝己

大阪市立衛生試驗所

所長 技師 藤原九十郎
理化學試驗主任 同 山口靜夫
顯微鏡細菌試驗主任 同 濱田良輔
庶務係主任 技師 北村爲知
技術課長 技師 田中源一
工務係主任 同 竹田理一
同水源係主任 同 藤田弘直
同配水管係主任 同 森脇淡四郎
給水課長 同 土井彌一
給水係主任 同 同 千賀昇太郎
倉庫係主任 技師 同 檜垣萬次郎
同工事係主任 同 行德直誠
同水管係主任 同 森脇淡四郎
淨水所長 同

橫濱市水道局工務課水質試驗所

鶴見出張所主任 書記 上野深源
水質試驗所主任 技師 田村英一
理化學試驗主任 同
顯微鏡細菌試驗主任 同 同 人 人

五、神戸市水道課

課長 主事 關源三郎
總務係主任 同 福田穰
總務工事係主任 技師 柴田茂
擴張工事係主任 書記 榎本安治
給水係主任 同 同 德丸茂一
徵收係主任 同 同 早山喜代藏
點檢係主任 同 同 渡邊正路
船舶給水所主任 同 同 直原慶三郎
倉庫係主任 同 同 巽熊次郎
湊川工場主任 技師 同 萩本常吉
工事係主任 同 同 森傳太
上野原淨水場主任 同 同 川岸梅二
北野淨水場主任 同 同
構場主任 同

庶務課長 主事 松前治廣
給水課長 同 大浦壽清
工務課長 技師 大野巖
會計課長 副收入役 菊地正彦
庶務係主任 書記 米野伊七
林務係主任 同 朝岡朝吉
經理係主任 同 大柳昌次
給水係主任 同 清水豐太郎
徵收係主任 同 板垣龍三
復興係主任 技師 尾島貞治
淨水係主任 同 重富潔
擴張調查係主任 同 岩元秀
工務係主任 主事 庭林音吉
配水係主任 技師 根本丹造
出納係主任 主事 塚田芳之介
倉庫係主任 書記 川本四郎次
山下出張所主任 同 石阪仙吉
神奈川出張所主任 同 中林清信
大岡出張所主任 同 原田芳太郎
磯子出張所主任 同
保土ヶ谷出張所主任 同

水道經營機關及職員

水質試験機関 (東京市衛生試験所ニ委託)

一一、澁谷町水道部

町長 藤田信次郎
 水道部長(兼)助役 高旨菊藏
 庶務課長 主事 平井武雄
 給水課長 技師 岩田 靈市
 浄水課長 同 同 人
 出納課長(兼)收入役 岩成馬之助

水質試験機関 (東京市衛生試験所ニ委託)

一三、青梅町水道課

課長 小澤秀蘭
 水質試験機関 (内務省衛生試験所ニ委託)

一四、峰山町水道事務所

九二

町長 太田静男
 助役 小林善九郎
 技師 藤澤太郎 吉
 工手 馬場 嶺吉
 書記 宮成龜之助

一五、堺市水道課

工事係主任 技師 横田律夫
 浄水係主任 技師 豊田小三郎

水質試験機関 (堺市立三國丘病院ニ委託)

院長 大住義次
 理化学試験主任 調剤員 田中 幹
 顕微鏡細菌 醫師 堀 萬里
 試験主任 醫師 堀 萬里

一六、横須賀市水道部

水道部長(兼)技師 掛札季藏
 工務係主任 同 川島英助
 庶務係主任 主事補 武原周之助

水質試験機関 (市立横須賀病院調剤員ニ委託)

水道水質試験員 雑賀源晴

一七、川崎市水道部

部長 栗谷三男
 兼庶務課長 主事 勝目清二
 工務課長 技師 石井 堅造
 經理課長(兼)收入役 宇佐美弘一
 庶務係主任 書記 和田貞三郎
 給水係主任 同 森田 兼吉
 徴収係主任 同 小泉 定吉
 會計係主任 同 佐々木 榮治郎
 用度係主任 技師 山口伊左雄
 設計係主任 同 遠藤 九郎
 浄水係主任 同 同
 工事係主任 同 同

水質試験機関

理化学試験主任 嘱託 多田 亮
 顕微鏡細菌 主任 同 大川國五郎

水道經營機關及職員

一八、尼崎市水道課

課長 技師 宮田常之丞
 庶務主任 書記 寺山勉三
 給水工事主任 技師 河瀬兵五郎
 浄水場主任 技師 大西祥治郎
 巡視監督 書記 篠田隆義

尼崎市水質試験所

理化学試験主任 技師 山本國禧
 顕微鏡細菌 主任 同 同 人

一九、明石市臨時水道部

部長 助役 別府静輔
 庶務係長 主事 中島實太郎
 會計係長 收入役 田邊 好
 工務係長 心得 技師 根本秀之介
 顧問技師 同 西出辰次郎

九三

水質試驗機關 (兵庫縣二委囑)

二〇、西宮市水道課

課長 主事 佐々木 榮

西宮市浄水場水質試驗所

理化學試驗主任 技手 古崎 克己
顯微鏡細菌主任 市 醫 森 克己

二二、高砂町水道係

町長 山田 知秀
助役 田角 宗治
書記 岩崎 誠一
書記 釜谷 竹一

水質試驗機關 (三菱製紙株式會社)

主任 技師 井上 末吉

二二、長崎市水道課

水道課長 技師 清水 新吉

水質試驗機關

水質試驗事務兼 技師 久保 寛
理化學試驗主任 鳴託技師 石濱 文郷
顯微鏡細菌主任 鳴託技師

二五、長岡市水道課

水道課長(兼)主事 飯島 一郎

水質試驗機關

鳴託 中川 治一郎
同 中川 健次
助 手 相田 辰七

二六、高田市水道課

課長 助役 山口 保之
庶務係主任 主事 金子 信治
會計係主任 書記 鷺澤 源真
工務係主任 技手 青木 亮

水道經營機關及職員

九四

課長

主事 鶴田 與茂市
技師 山崎 甚吾
書記 矢野 源吾

水質試驗機關

理化學試驗主任 技師 筒井 茂吉
顯微鏡細菌主任 同 筒井 豐馬
同 筒井 茂吉

二三、佐世保市衛生課

衛生課長 主事 足立 正人
工事係主任 技手 岡 貞次
事務主任 書記 宮脇 和三郎

水質試驗機關

理化學試驗主任 技手 吉本 一郎
顯微鏡細菌主任 同 同 人

二四、新潟市水道課

技術顧問 技師 加藤 傳七

水質試驗機關

理化學試驗主任 鳴託技手 中川 治一郎
顯微鏡細菌主任 鳴託技師 松井 勝

二七、新發田町水道課

課長 助役 二戸 八一郎
工事主任 技手 柿本作之丞

新發田水質試驗所

理化學試驗主任 技手 東間 重行
顯微鏡細菌主任 同 同 人

二八、前橋市臨時水道部

庶務課長 主事 伊東 保乃麿
會計課長 收入役 岡山 歡太郎
主任技師 技師 黒沼 才一郎

二九、高崎市事業課

九五

事業課長 赤石儀市
 水道係主任 書記 宮前寅雄
 工務係主任 技師 宇野米三郎
 給水工事係主任 技師 稻垣芳
 淨水場主任 小林角次郎

水質試驗機關

(高崎市藥劑師會(囑託))

理化學試驗主任 囑託 眞名子 元之丞
 顯微鏡細菌主任 同 同 人

三〇、沼田町第三課、第四課

第三課長 書記 梅澤植太郎
 第四課長 技師 矢野治三郎
 庶務主任 書記 嘉山武貞

水質試驗機關

水質試驗主任 技師 生方直次
 理化學試驗主任 同 同 人
 顯微鏡細菌主任 同 同 人

三一、水戸市土木課水道係

土木課長 主任 加藤木常男
 主任技師 技師 後藤直彦

三二、宇都宮市水道課

課長 主任 佐藤政右衛門
 工事主任 技師 的場宇太郎
 事務主任 主事 補 福田善作

水質試驗機關

衛生課長 技師 枋木縣
 理化學試驗主任 衛生技師 齊藤俊雄
 顯微鏡細菌主任 同 同 田中玉雄

三三、津市水道部

部長 須山榮
 工務課長 技師 池田顯三郎
 出張所長 同 豐田源一郎

三四、豊橋市臨時水道部

水道部長 助役 横田忍
 庶務課長 同 同 人
 工務課長(兼)技師 同 長崎敏音
 技師 長(兼)同 同 竹村吉之助
 庶務係長 主任 奈良茂樹
 工務係長 技師 宮崎正夫
 經理係長 書記 白井靜太郎
 會計係長 同 同 同 人

三五、濱松市臨時水道部

部長 角替磷爾
 工務課長 技師 今村貫三
 總務課長 書記 山田芳雄

三六、甲府市水道課

課長 技師 飯高新
 庶務係長 書記 名取啓藏

水道經營機關及職員

水質試驗機關

(山梨縣衛生検査所)

監視係長 同 鹽澤廣重
 工務係長 技師 田村安藏
 所長 主任 小佐野春吉
 理化學試驗主任 検査員 齋藤勝
 顯微鏡細菌主任 同 同 谷田秀實

三七、谷村町水道部

部長 町長 小林及益
 主任 書記 平井吉郎

三八、大津市水道課

課長 技師 塚本精太郎
 庶務係長 水道書記 三浦喜藏
 同 同 同 手賀啓一郎
 同 同 同 夏目新治郎
 同 同 同 內藤祐藏
 技術係 水道技師 市原喜代二

同 樋口司羽三
同 橋本克太
同 佐伯茂
同 西村石太郎
同 市島要作
兼水道書記補
兼技手補

水質試驗機關 (滋賀縣警察部衛生課)

滋賀縣衛生課長 衛生技師 中谷基

三九、松本市水道課

市長 小里賴永
助役 石川矩坦
水道課長 書記 九山武勝
送水配水主任 技手 藤澤節雄
給水主任 同 奧津照一

四〇、上田市水道係

主任 書記 喜多尾務人
水質試驗機關 (上田市水道係内)

理化學試驗主任 囑託 上田蠶絲專門學校教授 井上柳梧
顯微鏡細菌主任 囑託 上田蠶絲專門學校教授 佐藤利一

四一、上諏訪町水道部

町長 志賀市藏
助役 伊東勝太郎
助役 清水祐甫
水道係主任 書記 藤森俊夫
工務係主任 技手 廣木政次郎
徵收係主任 書記 矢島賢英
經理係主任 同 河合秋實

水質試驗機關 (長野縣諏訪細菌検査所)

四二、仙臺市水道部

水道部長 技師 桑原政次郎
經營課長 主事 佐々木次郎太
擴張課長 技師 鈴木富太郎
工務課長代理 技師補 小川清吉

水質試驗機關 (東北帝國大學醫學部二囑託)

理化學試驗主任 囑託 田澤芳三郎
顯微鏡細菌主任 同 人

四三、鹽釜町水道掛

水道掛長 助役 三浦源次郎

四四、福島市水道課

課長 主事 今泉正記
事務主任 書記 菊池喜
工事主任 技手 石田丑次郎

水質試驗機關

試驗主任 福島縣技師 中田貞次郎
理化學試驗主任 同 技手 齋藤光司

四五、若松市水道課 (福島縣)

課長 主事 平野清一

水道經營機關及職員

若松市水質試驗所

水質試驗主任 囑託 北村丘

四六、郡山市水道課

課長 心得 技手 瀧田篤治

郡山市水道水質試驗室

理化學試驗主任 市立傳染病院藥劑師 全田文治
顯微鏡細菌主任 同 人

四七、平町水道課

課長 技師 香野利一
庶務主任 書記 伊坂道雄

平町水道水質試驗所

主任 技手補 松井深
理化學試驗主任 同 人
顯微鏡細菌主任 同 人

四八、青森市水道課

課長 缺員
工務係長 技手 工藤敬一
經理係長 書記 石田幸六

水質試驗機關 (青森縣衛生課ニ囑託)

課長 技師 高崎壽市
理化學試驗主任 同 鎌田長兵衛
顯微鏡細菌主任 同 人

四九、五所川原町水道係

係長 書記 堤豐藏
技手 片岡由松
書記 渡邊猛彦
同 中道義邦

水質試驗機關 (青森縣衛生課ニ囑託)

青森縣衛生課長 衛生技師 高崎壽市

五〇、山形市水道部

理化學試驗主任 同 鎌田長兵衛
顯微鏡細菌主任 同 原田松太郎
部長 技師 工藤貞次
課長 助役 缺員
主任 書記 櫻庭謙三

五一、秋田市第二課水道係

第二課長 技師 櫻庭謙三

水質試驗機關 (秋田縣衛生試驗所ニ囑託)

水質試驗囑託 秋田縣技手 水口鐵太郎
同 清水等

五二、福井市水道部

部長兼工務課長 技師 木田喜之助
庶務課主任 書記 吉田捨吉
庶務係主任 同 大井田衛
調度係主任 同 沼野義之
工務係主任 技手 沼野義之

水質試驗機關

水質試驗主任 衛生技師 辻岡嶮
理化學試驗主任 囑託 山口清
顯微鏡細菌主任 衛生技師 辻岡嶮

五三、金澤市水道事務所

所長 助役 吉川一太郎
技師長 水道技師 石井一夫
庶務係長心得 水道書記 生駒已一郎
會計係長 水道主事 高山勇藏
工務係長 水道技師 牧口末吉
第一工事係長 同 片岡喬
第二工事係長 同 細井吉治郎

五四、高岡市水道部

部長 技師 橫尾弘真
工務課長 同 森河眞平
水道經營機關及職員 同 神崎平

五五、鳥取市水道部

部長事務取扱 主任 佐竹吉二
經理主任 書記 徳山千代藏
工務主任 技師 有田嘉平

水質試驗機關 (縣衛生技術員ニ囑託)

理化學試驗主任 縣衛生技手 乾敏彦
顯微鏡細菌主任 縣衛生技師 井出潔

五六、米子市水道部

水道部長 技師 岡林益樹
經理係主任 書記 山岡定一
工務係主任 技師 本池善太郎
給水係主任 書記 篠村幸市
水源地主任 機關士 藤井滋雄

水質試驗機關 (財團法人米子病院ニ囑託)

水質試驗囑託 財團法人 中村悠藏
米子病院院長

五七、松江市水道部

市長 高橋節雄
 市役 福田源次郎
 市役 橋本喜次郎
 市役 八卷重郎
 市役 永瀬 渙
 市役 初島 葭江
 水道部長 技師 入卷重郎
 庶務係主任 技師 永瀬 渙
 工務係主任 技師 初島 葭江

水質試驗機關 (島根縣衛生試驗所三囑託)

理化學試驗主任 技師 白江久次郎
 顯微鏡細菌試驗主任 技師 清野啓二

五八、岡山市水道課

課長 技師 森延太郎
 工務掛長 技師 齊木多一
 庶務掛長 技師 佐藤 博
 倉庫掛長 技師 缺員

岡山市衛生試驗所

所長 技師 安藤千秋
 理化學試驗主任 技師 同
 顯微鏡細菌試驗主任 技師 同

五九、倉敷市水道課

課長 技師 藤田只平
 庶務經理主任 技師 黑瀬史夫
 工務主任 技師 吉田英夫

六〇、廣島市水道課

水道課長 技師 今中權六
 經理係主任 技師 後藤房男
 淨水係主任 技師 中村寛治
 工務係主任 技師 魚谷清一

廣島市立衛生試驗所

所長 技師 天野 勳
 理化學試驗主任 技師 同
 顯微鏡細菌試驗主任 技師 同

六一、吳市水道課

課長 技師 多田定一
 工務掛長 技師 片岡 喬

吳市水道課水質試驗所

水質試驗所主任 技師 近藤 進
 理化學試驗主任 技師 同
 顯微鏡細菌試驗主任 技師 同
 助役 茂渡 義人

六二、尾道市水道課

課長 技師 中島佐吉

尾道市水道水質檢查所

檢查所主任 市醫 大口壽香

六三、福山市水道課

課長 技師 松本篤衛

水道經營機關及職員

六四、下關市水道課

水道課長 主事兼技師 橫山 信
 經理係主任 技師 藤井義介
 工務係主任 技師 菱谷淺吉
 給水係主任 技師 弘本末吉

下關市衛生試驗所

市立高尾病院院長 技師 荒川常太郎
 兼衛生試驗所主任 技師 齋藤 憲
 理化學試驗主任 技師 同
 顯微鏡細菌試驗主任 技師 同

六五、宇部市水道課

課長 主事 澁谷太吉
 經理係長 書記 西田半亮
 工務係長 技手 小口彌四郎

水質試驗機關 (私立沖ノ山同仁病院ニ囑託)

六六、和歌山市水道課

課長 主事 八尾藤市郎

和歌山市水質試驗所

理化學試驗主任 書記 坂田一元
 顯微鏡細菌衛生技師 稻垣靜二

六七、德島市水道課

水道課長 主事 長尾幾之助
 庶務係主任 書記 玉谷美次郎
 工務係主任 技手 早朝房助

水質試驗機關

(德島市立病院ニ囑託)
 理化學試驗主任 藥劑員 福島淳次郎

顯微鏡細菌衛生技師 上田久太郎

六八、高松市水道課

課長 助役 大柏清三郎

水質試驗機關

(香川縣廳內水質試驗室)
 囑託技手 城龍吉
 同 三好重富

六九、丸龜市水道係

庶務主任 書記 三谷七五三吉
 工務主任 技手 竹島德治

水質試驗機關

七〇、宇和島市水道課

課長 技師 金澤力太郎
 技手 寺下文三郎
 技手 岡村彖吉

福岡市水道水質試驗所
 理化學試驗主任 技手 白水茂八
 顯微鏡細菌衛生技師 同

七三、久留米市水道部

部長 助役 田村和六
 工務課長 技師 濱本齊肅
 庶務主任 書記 土岐正一
 工務主任 技師 石尾積

七四、門司市水道課

水道課長 主事 小川八二
 工務係主席 技師 水野鋼太郎
 給水係主席 書記 柴田增雄
 分水池出張所主席 同 村岡友治
 會計係主席 同 吉村佐內
 淨水池出張所主席 技手

門司市水道課上水検査所

七一、高知市水道課

水道課長 主事 野口照吉
 水道係長 書記 澤村祥輔
 技術係長 技手 和田茂春
 淨水場主任 同 山本重春

水質試驗場

(淨水場事務所内)
 理化學試驗主任 技手 尾崎松夫
 顯微鏡細菌衛生技師 同

七二、福岡市水道課

課長 技師 上田研介

上水検査所主席 囑託 大原喜代太
 理化學試験主任 同 人
 顕微鏡細菌 同 人
 試験主任 同 人

七五、小倉市水道課

水道課長 主事 出口勇夫
 水道擴張主任 技師 蒲生正徳
 經理係主任 書記 有松喬
 給水係主任 同 岩武清一
 工務係主任 技手 柏原貞幹

小倉市水道課水質検査所

理化學試験主任 小倉市立病院調劑長 三村親成
 顕微鏡細菌 同 富永準橘
 試験主任 同 富永準橘

七六、若松市土木課

土木課長 技師 岩崎安保
 水道主任 同 桑原仁

水質試験機關 (公立若松病院)

理化學試験主任 院學博士 安武正矩
 顕微鏡細菌 技手 室英夫
 試験主任 同 人

七七、大牟田市水道課

課長 主事 松浦清
 工務主任 技手 美川勝次
 給水主任 書記 森田長藏
 庶務主任 同 大藪初太郎

水質試験機關 (福岡市水質試験所ニ囑託)

七八、八幡市水道事務所

市長 市長 圖師兼 貳
 所長 助役 猿野子之吉
 技術部長 技師 河野愛香
 工事課長 同 富田良成

庶務課長 主事 瓜生庄太郎
 會計課長 收入役 芳賀勘介

七九、飯塚町上水道課

水道主任 技手 青山廣士

八〇、大分市水道部

部長 技師 坪根守利
 部 書記 兼田靜男
 庶務主任 書記 兼田靜男

水質試験機關

理化學試験主任 大分縣技師 西田大次郎
 顕微鏡細菌 同 瀧 愿
 試験主任 同 瀧 愿

八一、別府市水道課

水道課長 技師 石崎貞二郎
 給水係主任 書記 高山長太郎
 工務係主任 技手 丸山貫六

水質試験機關 (大分縣警察部ニ囑託)

水道經營機關及職員

理化學試験主任 藥劑師 安部貞一
 顕微鏡細菌 醫師 麻生 介
 試験主任 同 人

八二、中津市水道課

課長 技師 中 敬二
 部長 書記 岩田盛雄
 同 技手 藤富秀雄
 同 技手 中家壽雄

八三、佐賀市水道課

水道課長(兼)助役 小林一男
 經理係主任 書記 小林常作
 工務掛主任 技手 香月藤四郎

水質試験機關

理化學試験主任 縣衛生技師 江藤吉之丞
 顕微鏡細菌 同 技手 藤原 適
 試験主任 同 技手 藤原 適

八四、鹿兒島市水道課

水道課長 技師 本村 屯
 工務係主任 同 同 村
 事務係主任 同 松田 精熊

水質試驗機關 (鹿兒島市立尾畔病院)

院長 技師 金丸 秀實
 理化學試驗主任 調劑員 田中 武治
 顯微鏡細菌主任 醫員 有馬 巖
 試驗助手 同 越山 金彦

八五、京城府水道課

水道課長 水道技師 多田 隆吉
 經理係長 府書記 金古 鼎成
 工務係長 水道技師 柏木 男也

水質試驗機關

衛生課長 衛生技師 森岡 收
 理化學試驗主任 同 酒井 謙治
 顯微鏡細菌主任 衛生技師 井上 一三

八六、仁川府

內務係主任 府尹 寺嶋 利久
 財務係主任 同 兵働 義雄
 給水並徵收係 府書記 龜田 市平
 工務係 府技師 福村 萬太郎
 淨水係 同 千布 高次
 試驗所主任 府技師 小山 三郎

仁川水道水質試驗所

試驗所主任 府技師 馬場 健太郎

八七、群山府

內務係主任 府屬 吉津 五郎

水質試驗機關 (道立郡山醫院)

水質試驗主任 府囑託 山本 秀一

八八、木浦府

掛長ニ準スルモノ 府技手 北村 兵之助
水質試驗機關
 理化學試驗主任 囑託病院長 青木 正枝
 顯微鏡細菌主任 同 同 人

八九、大邱府

府朝鮮總督府 府尹 山崎 眞雄
 內務課長 同 府屬 佐藤 德重
 財務課長 同 同上 上田 曠
 庶務係主任 同 南 鱒 治
 工務係 府技手 木村 進
 徵收係 府書記 中島 太三郎
 庶務係 同 一丸 新六

九一、平壤府

內務課長心得 府尹 松井 信助
 土木係主任 府屬 上野 彦八
 庶務掛 府書記 若林 熊太郎
 工務掛 府技師 中村 修廣
 電氣掛 同 井上 慈郎
 淨水掛 同 松下 良景

釜山府水質試驗所

理化學試驗主任 府立病院局長 村松 博
 顯微鏡細菌主任 同 醫員 岩城 隆一
 內務課長 府理事官 桑原 一郎
 水道擴張係(兼)府技師 貝塚 正巳
 水道係主任 府書記 渡邊 平三郎
 同 同 佐治 爲敬
 同 同 澤島 介一

九〇、釜山府

水質試驗機關 (慶尙北道警察部衛生課)
 衛生試驗室主任 道技手 西 三次郎

平壤府水質試驗所

理化學試驗主任 囑 託 宮林武男
顯微鏡細菌試驗主任 同 同 人

九二、鎮南浦府

主任 府 尹 池田魁
庶務徵收係 府 書 記 松井尙一
水道技術係 同 技 手 朱學根
電氣技術係 囑 託 原田豐太郎
囑 託 土橋六兵衛

水質試驗機關

(平安南道慈惠醫院
南浦分院)

院長 囑 託 中村富一
理化學試驗主任 同 同 人
顯微鏡細菌試驗主任 同 同 人

九三、新義州府

府 尹 伊藤正愨

水質試驗機關

(兼)土木技師 下津美行
內務主任 府 屬 清川恭司
府 技 手 藤浦保
(兼)府 書 記 影山喜代市

囑 託 鈴間留治

九四、元山府

府 尹 山崎駿二
府 屬 德永一衛
內務係主任 府 屬 涌澤元三郎
水道主任 土木技師

水質試驗機關

(元山府立病院)

院長 醫 長 山川恒之
理化學試驗主任 調 劑 手 栗林清造
顯微鏡細菌試驗主任 調 劑 手 栗林清造

九五、咸興面

道技手 原英治
衛生技師 長和智海
理化學試驗主任
顯微鏡細菌試驗主任

〇公 州

面 長 山道一夫
副 長 金相翼
書 記 青山忠
主任技手 三橋信吉

水質試驗機關 (忠清南道衛生課)

道技手 浦田末男
理化學試驗主任 同 同 人
顯微鏡細菌試驗主任 同 同 人

〇江 景

面 長 坂上富藏

水質試驗機關

理化學試驗主任 囑 託 浦田末男

水道經營機關及職員

九六、豐原町水道係

水道係長(兼)助 役 久保田 衛

九七、大泊町水道部

部長 技 師 筑紫又藏
庶務課長 主 事 村井宗四郎
工務課長 技 手 田村初代志

九八、朝鮮總督府

〇清 州

面 技 手 小西三藏

水質試驗機關 (忠清北道衛生課囑託)

顯微鏡細菌

同 同 人

○全州

面技手 鈴木幸太郎
面書記 (臨時雇) 戸塚莊三

水質試驗機關

理化學試驗主任
顯微鏡細菌主任

囑託道技手 平賀三郎
同 人

○光州

庶務係主任 面書記 秋岡勘二

水質試驗機關 (全羅南道衛生試驗室)

理化學試驗主任
顯微鏡細菌主任

面囑託技手 猿渡醇
同 人

○高興

面書記 裴俊大
李容沃

書記 李昇奎

○浦項

主任 面書記 矢澤芳三郎

水質試驗機關 (慶尙北道衛生課)

囑託 衛生技手 尾形健一

○金泉

面長 笹猪之助

水質試驗機關 (道立金泉醫院)

水質試驗囑託 醫院藥劑手 案西惠

○晉州

面長 桂登利藏

水質試驗機關 (慶尙南道立病院)

理化學試驗主任 藥劑手 伊藤桂

○鎮海

面長 伊藤桂
面長 織田選

○海州

面長 沖本正晴
書記 溝口規矩男

水質試驗機關

理化學試驗主任 技手 小島來太郎

○義州

面長 李明煥
副長 野本甚作
書記 李世炳
機關手 朴寬浩
巡視 朴成龍

水質試驗機關 (平安北道立醫院)

水道經營機關及職員

理化學試驗主任 技手 峰村八一
顯微鏡細菌主任 同 人

○春川

主任 福江準治

水質試驗機關

理化學試驗主任 道技手 有川武彦
顯微鏡細菌主任 同 人

○平康

面長 金萬琦
面技手 古賀鶴市

水質試驗機關

理化學試驗主任 道技手 有川武彦
顯微鏡細菌主任 同 人

○清津

府尹 馬場是一郎
府屬 吉嶺 柏
府技師 吉野喜文
府技手 市成秀彦
府屬 立野忠吾
會計係 府屬

水質試驗機關

理化學試驗主任 道技手 井出 人
顯微鏡細菌試驗主任 同

○羅南

面長 吉本三次郎
副長 森尚治
書記 李庚德
同 水口好秀

○城津

面長 李應烈
副面長 木山慶一

技手 國枝吉次郎
書記 草場蓮平

水質試驗機關

理化學試驗主任 藥劑手 溝口虎喜

○會寧

面長 物部安馬

九九、臺灣總督府

○臺北

土木水道課長 地方技師 永野幸之丞
水道係長 屬 武部八三郎

水質試驗機關 (臺北市衛生課)

衛生課長 衛生技師 渡邊七治
理化學試驗主任 囑託 山本政雄
顯微鏡細菌試驗主任 同 人

○基隆

管理市尹 加藤守道
所屬課長 助役 精松 熾
係長 技手 渡邊延次郎

水質試驗機關

衛生部長 技師 堀內次雄
理化學試驗主任 同 山口謹爾
顯微鏡細菌試驗主任 同 鈴木近志

○淡水

街長 雷俊臣
助役 川井田幸五郎
會計役 杜麗水
主任 土木技手 杉村孝純
書記 鄭金江

水質試驗機關

(臺灣總督府中央研究所)
水質試驗主任 技手 正田主計

水道經營機關及職員

○臺中

管理市尹 小島仁三郎
庶務課長 助役 河野十郎
財務課長 長 南部爲人
水道係長 土木技師

水質試驗機關

理化學試驗主任 囑託 一ノ瀬 肇
顯微鏡細菌試驗主任 同 人

○彰化

街長 楊吉臣
助役 植田勇次郎
會計役 赤塚音次郎
庶務主任 岡田治之助
財務主任 吳爾涼
土木主任 永井實芳

水質試驗機關 (臺中州衛生課)

理化學試驗主任 囑託 森田吉彦
顯微鏡細菌試驗主任 同 人

○臺南

市尹 理事官 遠藤所六
助役 同 松尾繁治
水道課長 技師 公莊勝二郎
事務取扱 技師 緒方鐵雄
給水係主任 技師 豐田誠之
淨水係主任 同 人

臺南市水道水質試驗室

理化學試驗主任 技師 豐田誠之
顯微鏡細菌試驗主任 同 人

○嘉義

主任 技師 真木勝太
街長 山田好兵衛
助手 同 人

水質試驗機關 (嘉義醫院藥局長ニ依囑)

理化學試驗主任 囑託 中村源治
顯微鏡細菌試驗主任 同 人

○高雄

市尹 地方理事官 齋藤玄壽郎
庶務課長 助役 梅川伊之助
水道係主任 技師 榊田忠彦

高雄市水道係水質試驗室

水道係主任 技師 榊田忠彦
理化學試驗主任 囑託 大久保政治
顯微鏡細菌試驗主任 同 人

○屏東

街長 渡邊發藏
助役 長井恭輔
技師 同 人

水質試驗機關

理化學試驗主任 囑託 大久保正治
顯微鏡細菌試驗主任 同 人

○花蓮港

管理者 廳長 中田秀造
庶務課長 地方理事官 和田博
土木係長 技師 守屋應次郎

水質試驗機關

(花蓮港廳警務課衛生係)
理化學試驗主任 衛生技師 松本清六
顯微鏡細菌試驗主任 同 人

一〇〇、關東廳

○大連

大連民政署長 事務官 田中千吉
地方課長 理事官 吉野不二雄
大連民政署兼務技師 長澤圭吾
地方課水道係主任 同 小島文爾

水道經營機關及職員

水質試驗機關

一、專屬試驗室ヲ濾過室ノ一部ニ置キ專ラ源水、濾過水等ニ付理化學試驗ヲシ水道係主任之ヲ監督ス
二、細菌試驗ハ他ニ委託ス

○旅順

旅順民政署長 事務官 藤原鐵太郎
旅順民政署長 理事官 増田道義
庶務課長 技師 中村貞輔
旅順民政署兼務技師 澤口留藏
水道係主任 技師 同 人

水質試驗機關

(旅順療病院調劑員ニ囑託)
理化學試驗主任 調劑員 横山善七
顯微鏡細菌試驗主任 同 人

○金州

金州民政署長 事務官 森重千夫
總務課長 屬 池田公雄
兼務技師 小島文爾

水質試驗機關 (大連民政署水道係及南滿洲鐵道株式會社衛生研究所二囑託)

水道係主任 技師 小島文爾
 理化學試驗囑託 滿鐵衛生研究所長 金井章次

一〇一、荒玉水道町村組合

管理 服部良太郎
 役 山田千佐人
 收入 平井秀雄
 主 川井鶴吉
 技師 八島明
 工務課長 石川治平
 工務課長 同

水質試驗機關 (砧出張所内)

理化學試驗主任 囑託 柿澤信義
 顯微鏡細菌主任 技師 手古正道

一〇二、江戸川上水町村組合

管理 大嶋亨藏
 役 川野濱吉

專務取締役 野口長次郎
 取締役 瀧鼻慶吾
 同 永橋至剛
 同 中原岩三郎
 同 前田二平
 同 平林淺次郎
 同 渡邊三郎
 同 松本留吉
 同 秋本喜七
 同 柏谷義三
 同 能勢鼎三
 同 豐田亮太郎
 同 今野貞一郎
 同 中野源次郎
 同 加藤傳七
 同 藤原市二
 同 小島寬
 同 森馨亮
 同 山下辰也
 同 文書課長 主事 山

水道經營機關及職員

庶務課長 同 林利藏
 會計課長 收入 加藤幸三郎
 工務課長 技師 武田侃式

水質試驗機關 (淨水場)

理化學試驗主任 技師 手 內田那沙美
 顯微鏡細菌主任 同 同 人

一〇三、南滿洲鐵道株式會社

地方部長 參事 保々隆矣
 地方部地方課長 同 中西敏憲
 地方部土木課長 同 長谷川貞三

水質試驗機關 (南滿洲鐵道株式會社衛生研究所)

地方部衛生課長 兼衛生研究所長 參事 金井章次

一〇四、玉川水道株式會社

取締役社長 栗原幸藏

經理課長 同 山田芳三
 外勤監督課副長 同 永井茂
 營業課副長 主事 尾野松太郎
 庶務係長 同 兒玉達吉
 工務係長 技師 加藤義平
 布設係長 同 後藤由太郎
 工事係長 同 長谷川八十太郎
 倉庫係長 主事 龜田正一
 販賣係長 書記 杉山雄式
 集金係長 書記 松岡敬太郎
 營業係長 同 齋藤平雄
 計算係長 同 春柳武男
 出納係長 同 柴山壽之助
 調定係長 同 田島正太郎
 水源係長 技師 黑江景義

水質試驗機關

技術顧問 服部廣太郎
 同 小島三郎
 技師 松岡一馬

水道名	事務關係者名稱	年俸者	月俸者	備考
新瀉市	主事	1	1	
長岡市	主事	1	1	
高田市	主事	1	1	
新發田町	主事	1	1	
前橋市	主事	1	1	
高崎市	主事	1	1	
沼田町	主事	1	1	
水戸市	主事	1	1	
宇都宮市	主事	1	1	
奈良市	主事	1	1	
津市	主事	1	1	
桑名町	主事	1	1	
豐橋市	主事	1	1	
静岡市	主事	1	1	
濱松市	主事	1	1	
伊東町	主事	1	1	
熱海町	主事	1	1	

水道名	事務關係者名稱	年俸者	月俸者	備考
澁谷町	主事	1	1	
青梅町	主事	1	1	
峰山町	主事	1	1	
堺市	主事	1	1	
横須賀市	主事	1	1	
川崎市	主事	1	1	
姫路市	主事	1	1	
尼崎市	主事	1	1	
明石市	主事	1	1	
西宮市	主事	1	1	
高砂町	主事	1	1	
豊岡町	主事	1	1	
長崎市	主事	1	1	
佐世保市	主事	1	1	

第二 職員並附屬員(其一)職員(年俸者)

水道名	事務關係者名稱	事務關係員數	平均月額	最高月額	事務關係者名稱	事務關係員數	平均月額	最高月額	事務關係者名稱	事務關係員數	平均月額	最高月額
平町	主事	1	100	100	技師	1	100	100	書記	3	100	100
青森市	主事	1	100	100	技師	1	100	100	書記	3	100	100
五所川原町	主事	1	100	100	技師	1	100	100	書記	3	100	100
山形市	主事	1	100	100	技師	1	100	100	書記	3	100	100
秋田市	主事	1	100	100	技師	1	100	100	書記	3	100	100
福井市	主事	1	100	100	技師	1	100	100	書記	3	100	100
金澤市	主事	1	100	100	技師	1	100	100	書記	3	100	100
高岡市	主事	1	100	100	技師	1	100	100	書記	3	100	100
鳥取市	主事	1	100	100	技師	1	100	100	書記	3	100	100
米子市	主事	1	100	100	技師	1	100	100	書記	3	100	100
松江市	主事	1	100	100	技師	1	100	100	書記	3	100	100
岡山市	主事	1	100	100	技師	1	100	100	書記	3	100	100
倉敷市	主事	1	100	100	技師	1	100	100	書記	3	100	100
廣島市	主事	1	100	100	技師	1	100	100	書記	3	100	100

水道名	事務關係者名稱	事務關係員數	平均月額	最高月額	事務關係者名稱	事務關係員數	平均月額	最高月額	事務關係者名稱	事務關係員數	平均月額	最高月額
甲府市	兼技師	1	100	100	技師	1	100	100	書記	5	100	100
谷村町	兼技師	1	100	100	技師	1	100	100	書記	5	100	100
大津市	技師	1	100	100	技師	1	100	100	書記	5	100	100
長野市	技師	1	100	100	技師	1	100	100	書記	5	100	100
松本市	技師	1	100	100	技師	1	100	100	書記	5	100	100
上田市	技師	1	100	100	技師	1	100	100	書記	5	100	100
上諏訪町	技師	1	100	100	技師	1	100	100	書記	5	100	100
仙臺市	主事	1	100	100	技師	1	100	100	書記	5	100	100
鹽釜町	兼助務役	1	100	100	技師	1	100	100	書記	5	100	100
石巻町	主事	1	100	100	技師	1	100	100	書記	5	100	100
福島市	主事	1	100	100	技師	1	100	100	書記	5	100	100
若松市	主事	1	100	100	技師	1	100	100	書記	5	100	100
郡山市	主事	1	100	100	技師	1	100	100	書記	5	100	100

水道名	事務關係者名稱	年	平均月額	最高月額	技術關係者名稱	者	平均月額	最高月額	事務關係者名稱	月	平均月額	最高月額	技術關係者名稱	者	平均月額	最高月額	備考
久留米市	主事	1	1,000	1,000	技師	1	1,000	1,000	書記補	1	1,000	1,000	技師	1	1,000	1,000	
門司市	主事	1	1,000	1,000	技師	1	1,000	1,000	書記補	1	1,000	1,000	技師	1	1,000	1,000	
小倉市	主事	1	1,000	1,000	技師	1	1,000	1,000	書記補	1	1,000	1,000	技師	1	1,000	1,000	
若松市	主事	1	1,000	1,000	技師	1	1,000	1,000	書記補	1	1,000	1,000	技師	1	1,000	1,000	
大牟田市	主事	1	1,000	1,000	技師	1	1,000	1,000	書記補	1	1,000	1,000	技師	1	1,000	1,000	
八幡市	主事	1	1,000	1,000	技師	1	1,000	1,000	書記補	1	1,000	1,000	技師	1	1,000	1,000	
飯塚町	主事	1	1,000	1,000	技師	1	1,000	1,000	書記補	1	1,000	1,000	技師	1	1,000	1,000	
大分市	主事	1	1,000	1,000	技師	1	1,000	1,000	書記補	1	1,000	1,000	技師	1	1,000	1,000	
別府市	主事	1	1,000	1,000	技師	1	1,000	1,000	書記補	1	1,000	1,000	技師	1	1,000	1,000	
中津市	主事	1	1,000	1,000	技師	1	1,000	1,000	書記補	1	1,000	1,000	技師	1	1,000	1,000	
佐賀市	主事	1	1,000	1,000	技師	1	1,000	1,000	書記補	1	1,000	1,000	技師	1	1,000	1,000	
熊本市	主事	1	1,000	1,000	技師	1	1,000	1,000	書記補	1	1,000	1,000	技師	1	1,000	1,000	
鹿兒島市	主事	1	1,000	1,000	技師	1	1,000	1,000	書記補	1	1,000	1,000	技師	1	1,000	1,000	
那覇市	主事	1	1,000	1,000	技師	1	1,000	1,000	書記補	1	1,000	1,000	技師	1	1,000	1,000	
京城府	主事	1	1,000	1,000	技師	1	1,000	1,000	書記補	1	1,000	1,000	技師	1	1,000	1,000	
仁川府	主事	1	1,000	1,000	技師	1	1,000	1,000	書記補	1	1,000	1,000	技師	1	1,000	1,000	

水道名	事務關係者名稱	年	平均月額	最高月額	技術關係者名稱	者	平均月額	最高月額	事務關係者名稱	月	平均月額	最高月額	技術關係者名稱	者	平均月額	最高月額	備考
吳市	主事	1	1,000	1,000	技師	1	1,000	1,000	書記	1	1,000	1,000	技師	1	1,000	1,000	
尾道市	主事	1	1,000	1,000	技師	1	1,000	1,000	書記	1	1,000	1,000	技師	1	1,000	1,000	
福山市	主事	1	1,000	1,000	技師	1	1,000	1,000	書記	1	1,000	1,000	技師	1	1,000	1,000	
下關市	主事	1	1,000	1,000	技師	1	1,000	1,000	書記	1	1,000	1,000	技師	1	1,000	1,000	
宇部市	主事	1	1,000	1,000	技師	1	1,000	1,000	書記	1	1,000	1,000	技師	1	1,000	1,000	
和歌山市	主事	1	1,000	1,000	技師	1	1,000	1,000	書記	1	1,000	1,000	技師	1	1,000	1,000	
德島市	主事	1	1,000	1,000	技師	1	1,000	1,000	書記	1	1,000	1,000	技師	1	1,000	1,000	
高松市	主事	1	1,000	1,000	技師	1	1,000	1,000	書記	1	1,000	1,000	技師	1	1,000	1,000	
丸龜市	主事	1	1,000	1,000	技師	1	1,000	1,000	書記	1	1,000	1,000	技師	1	1,000	1,000	
松山市	主事	1	1,000	1,000	技師	1	1,000	1,000	書記	1	1,000	1,000	技師	1	1,000	1,000	
宇和島市	主事	1	1,000	1,000	技師	1	1,000	1,000	書記	1	1,000	1,000	技師	1	1,000	1,000	
高知市	主事	1	1,000	1,000	技師	1	1,000	1,000	書記	1	1,000	1,000	技師	1	1,000	1,000	
福岡市	主事	1	1,000	1,000	技師	1	1,000	1,000	書記	1	1,000	1,000	技師	1	1,000	1,000	

水道名	水道調査 及水量水 器點檢者 名稱	員數	平均月額		雇員	平均月額		其他	平均月額		員數計	備考
			最高月額	平均月額		最高月額	平均月額		最高月額	平均月額		
澁谷町	水道検査員	八	八六四	八五九	八	六八三	六五八	一	七四四	七四四	八	
青梅町	工書手	二	六四一	六三一	二	四三〇	三九八	一	三七七	三七七	二	
峰山町	工書手	二	六四一	六三一	二	四三〇	三九八	一	三七七	三七七	二	
堺市	水道巡視	四	六六四	六四一	四	五七七	五四七	五	五四四	五四四	四	
榑須賀市	水道巡視	二	七〇五	六八四	二	四七七	四四七	一	五四四	五四四	二	
川崎市	雇書記補	八	五八四	五八四	四	六四九	六〇九	四	五四三	五四三	八	
姫路市	巡視	三	四四四	四四四	一	七四四	七四四	一	四四四	四四四	三	
尼崎市	巡視	三	四四四	四四四	一	七四四	七四四	一	四四四	四四四	三	
明石市	水道巡視	三	六六四	六四一	一	三三五	三三五	一	三三三	三三三	三	
西宮市	水道巡視	三	六六四	六四一	一	三三五	三三五	一	三三三	三三三	三	
高砂町	巡視	一	四〇〇	四〇〇	一	三三五	三三五	一	三三三	三三三	一	
豊岡町	巡視	一	四〇〇	四〇〇	一	三三五	三三五	一	三三三	三三三	一	
長崎市	書記補兼	九	八六七	八四七	四	五四五	五四五	一	三三三	三三三	九	
佐世保市	水栓手	三	八六七	八四七	四	五四五	五四五	一	三三三	三三三	三	

水道名	水道調査 及水量水 器點檢者 名稱	員數	平均月額		雇員	平均月額		其他	平均月額		員數計	備考
			最高月額	平均月額		最高月額	平均月額		最高月額	平均月額		
新潟市	書記補	六	六六四	六三一	二	三三三	三三三	一	二〇〇	二〇〇	六	
長岡市	水道巡視	三	五五〇	五三〇	二	三三三	三三三	一	二〇〇	二〇〇	三	
高田市	巡視	二	五五〇	五三〇	二	三三三	三三三	一	二〇〇	二〇〇	二	
新發田町	巡視	一	四三三	四三三	一	三三三	三三三	一	二〇〇	二〇〇	一	
前橋市	水道巡視	四	五四九	五三〇	一	三三三	三三三	一	二〇〇	二〇〇	四	
高崎市	水道巡視	四	五四九	五三〇	一	三三三	三三三	一	二〇〇	二〇〇	四	
沼田町	巡視	一	四〇〇	四〇〇	一	三三三	三三三	一	二〇〇	二〇〇	一	
水戸市	水道監視	二	四四二	四二二	一	三三三	三三三	一	二〇〇	二〇〇	二	
宇都宮市	水道巡視	五	五八四	五六四	二	三三三	三三三	一	二〇〇	二〇〇	五	
奈良市					二	三三三	三三三	一	二〇〇	二〇〇	二	
津市					二	三三三	三三三	一	二〇〇	二〇〇	二	
桑名町					二	三三三	三三三	一	二〇〇	二〇〇	二	
豊橋市					二	三三三	三三三	一	二〇〇	二〇〇	二	
静岡市					二	三三三	三三三	一	二〇〇	二〇〇	二	
濱松市					三	三三三	三三三	一	二〇〇	二〇〇	三	
伊東町					三	三三三	三三三	一	二〇〇	二〇〇	三	
熱海町					三	三三三	三三三	一	二〇〇	二〇〇	三	

水道名	水道調査 及量水器 點檢者名	員數	雇員		其他	員數計		備考
			最高月額	平均月額		最高月額	平均月額	
甲府市	水道巡視	六人	最高月額 一四六〇	平均月額 一三〇〇	一人	最高月額 一四六〇	平均月額 一三〇〇	
谷村町	工 夫	一人	最高月額 一五八〇	平均月額 一四九〇	一人	最高月額 一五八〇	平均月額 一四九〇	
大津市					三人			
長野市					四			
松本市	水道巡視	五人	最高月額 一四四〇	平均月額 一三四〇		最高月額 一四四〇	平均月額 一三四〇	
上田市	水道巡視	三人	最高月額 一四八〇	平均月額 一三九〇		最高月額 一四八〇	平均月額 一三九〇	
上諏訪町	書 記	二人	最高月額 一五〇〇	平均月額 一四二〇		最高月額 一五〇〇	平均月額 一四二〇	
仙臺市	巡 視	七人	最高月額 一六三〇	平均月額 一五五〇		最高月額 一六三〇	平均月額 一五五〇	
鹽釜町	巡 視 員	四人	最高月額 一四二〇	平均月額 一三五〇		最高月額 一四二〇	平均月額 一三五〇	
石巻町								
福島市	水道巡視	三人	最高月額 一四九〇	平均月額 一四〇〇		最高月額 一四九〇	平均月額 一四〇〇	
若松市					一人			
郡山市	巡 視	四人	最高月額 一五八〇	平均月額 一四三〇		最高月額 一五八〇	平均月額 一四三〇	

水道名	水道調査 及量水器 點檢者名	員數	雇員		其他	員數計		備考
			最高月額	平均月額		最高月額	平均月額	
平 町	巡 視	四人	最高月額 一四三〇	平均月額 一三六〇		最高月額 一四三〇	平均月額 一三六〇	
青森市	看 手	一人	最高月額 一五五〇	平均月額 一四七五		最高月額 一五五〇	平均月額 一四七五	
五所川原町								
山形市	巡 視	四人	最高月額 一四三〇	平均月額 一三五〇		最高月額 一四三〇	平均月額 一三五〇	
秋田市	水道巡視	三人	最高月額 一六〇〇	平均月額 一三八八		最高月額 一六〇〇	平均月額 一三八八	
福島市	巡 視	四人	最高月額 一四七五	平均月額 一三五二		最高月額 一四七五	平均月額 一三五二	
金澤市					八			
高岡市								
鳥取市	水道巡視	四人	最高月額 一四七五	平均月額 一三七〇		最高月額 一四七五	平均月額 一三七〇	
米子市	巡 視	二人	最高月額 一四四二	平均月額 一三四三		最高月額 一四四二	平均月額 一三四三	
松江市	書 記	五人	最高月額 一四八七	平均月額 一四〇六		最高月額 一四八七	平均月額 一四〇六	
岡山市	巡 視 員	四人	最高月額 一五五五	平均月額 一四三六		最高月額 一五五五	平均月額 一四三六	
倉敷市	巡 視	一人	最高月額 一五五五	平均月額 一四三六		最高月額 一五五五	平均月額 一四三六	
広島市	書 記 補記	八人	最高月額 一六〇九	平均月額 一四七五		最高月額 一六〇九	平均月額 一四七五	

第二 職員並附屬員(其一)職員(水道調査及量水器點檢者、雇員、雇員ニ準スル者其他)

水道名	水道調査 及水量器 點檢者名	員數		雇員		其他		員數計		備考
		最高月額	平均月額	最高月額	平均月額	最高月額	平均月額	最高月額	平均月額	
吳市	書記	4	5,600	3	3,000	1	3,000	8	2,000	
尾道市	水道巡視	2	5,500	2	3,000	0	0	4	2,000	
福山市	水道巡視	3	4,400	0	0	0	0	3	2,000	
下關市	水道巡視	9	6,500	0	0	0	0	9	2,000	
宇部市	巡視	3	5,400	0	0	0	0	3	2,000	
和歌山市	事務員	2	5,400	2	3,000	0	0	4	2,000	
徳島市	巡視	6	5,900	0	0	0	0	6	2,000	
高松市	水道巡視	4	5,800	1	4,700	0	0	5	2,000	
丸龜市	巡視	1	3,300	0	0	0	0	1	2,000	
松山市										
宇和島市										
高知市	水道巡視	3	4,500	3	5,700	0	0	6	2,000	
福岡市	外勤書記員	8	6,600	3	4,400	0	0	11	2,000	

〔量水器點檢者ハ書記及職工ヲ以テ之ニ充ツ〕

久留米市	水道監視員	1	7,000	0	0	0	0	1	2,000	
門司市	水道巡視	4	5,400	0	0	0	0	4	2,000	
小倉市	水道巡視	3	4,800	0	0	0	0	3	2,000	
若松市	水栓番	3	6,500	0	0	0	0	3	2,000	
大牟田市	巡視	8	4,900	3	3,600	0	0	11	2,000	
入幡市										
戸畑市										
飯塚町	巡視	3	3,600	1	4,400	0	0	4	2,000	
大分市	水栓手	4	4,400	2	3,300	0	0	6	2,000	
別府市	水栓手	4	4,400	2	3,300	0	0	6	2,000	
中津市	書記	3	6,500	4	3,700	0	0	7	2,000	
佐賀市	書記	3	6,500	4	3,700	0	0	7	2,000	
熊本市										
鹿兒島市	巡視	5	4,400	1	3,500	0	0	6	2,000	
那覇市										
京城府	工員	2	8,500	0	0	0	0	2	2,000	
仁川府	巡視	3	5,400	0	0	0	0	3	2,000	

〔水道監視員ハ書記ヲ以テ之ニ充ツ〕

第二 職員並附屬員(其一)職員(水道調査及量水器點檢者、雇員、雇員ニ準スル者、其他)

第二 職員並附屬員(其一) 職員(水道調査及量水器點檢者、其他)

全州	光州	高州	浦項	金泉	晉州	鎮海	海州	義州	春川	平康	清津	羅南	城津	會寧	臺北	基隆
巡視	巡視	巡視	巡視	巡視	巡視	巡視	巡視	巡視	巡視	巡視	巡視	巡視	巡視	巡視	巡視	巡視
兼水巡視	兼水巡視	兼水巡視	兼水巡視	兼水巡視	兼水巡視	兼水巡視	兼水巡視	兼水巡視	兼水巡視	兼水巡視	兼水巡視	兼水巡視	兼水巡視	兼水巡視	兼水巡視	兼水巡視
二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
四四	四四	四四	四四	四四	四四	四四	四四	四四	四四	四四	四四	四四	四四	四四	四四	四四
六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六
八三〇	八三〇	八三〇	八三〇	八三〇	八三〇	八三〇	八三〇	八三〇	八三〇	八三〇	八三〇	八三〇	八三〇	八三〇	八三〇	八三〇
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
四四五	四四五	四四五	四四五	四四五	四四五	四四五	四四五	四四五	四四五	四四五	四四五	四四五	四四五	四四五	四四五	四四五
二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
九八五	九八五	九八五	九八五	九八五	九八五	九八五	九八五	九八五	九八五	九八五	九八五	九八五	九八五	九八五	九八五	九八五
一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七

江景	公州	清州	大泊町	豐原町	咸興面	元山府	新義州府	鎮南浦府	平壤府	釜山府	大邱府	木浦府	群山府
巡視	巡視	巡視	巡視	巡視	巡視	工手	工手	兼巡視	水道巡視	水道巡視	水道巡視	水道巡視	水道巡視
兼水巡視	兼水巡視	兼水巡視	兼水巡視	兼水巡視	兼水巡視	兼水巡視	兼水巡視	兼水巡視	兼水巡視	兼水巡視	兼水巡視	兼水巡視	兼水巡視
二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
二七五	二七五	二七五	二七五	二七五	二七五	二七五	二七五	二七五	二七五	二七五	二七五	二七五	二七五
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
二七五	二七五	二七五	二七五	二七五	二七五	二七五	二七五	二七五	二七五	二七五	二七五	二七五	二七五
四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四
五三八	五三八	五三八	五三八	五三八	五三八	五三八	五三八	五三八	五三八	五三八	五三八	五三八	五三八
七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七

水道名	新	長	高	新	前	高	沼	水	宇	奈	津	桑	豐	靜	濱	伊	熱
新	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
額最高日	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55
額平均日	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55
使小	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
額最高日	110	110	110	110	110	110	110	110	110	110	110	110	110	110	110	110	110
額平均日	110	110	110	110	110	110	110	110	110	110	110	110	110	110	110	110	110
工組手	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
額最高日	180	180	180	180	180	180	180	180	180	180	180	180	180	180	180	180	180
額平均日	180	180	180	180	180	180	180	180	180	180	180	180	180	180	180	180	180
工鉛	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
額最高日	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
額平均日	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
工管鐵	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
額最高日	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300
額平均日	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300
工木	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
額最高日	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200
額平均日	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200
工石	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
額最高日	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
額平均日	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
備考																	

第二 職員並附屬員(其二)附屬員(給仕、小使、工手、助手、組長、給仕、小使、工手、助手、組長、給仕、小使、工手、助手、組長)

水道名	佐	長	豐	高	西	明	尼	姫	川	横	堺	峰	青	澁
水	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
額最高日	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55
額平均日	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55
使小	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
額最高日	110	110	110	110	110	110	110	110	110	110	110	110	110	110
額平均日	110	110	110	110	110	110	110	110	110	110	110	110	110	110
工組手	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
額最高日	180	180	180	180	180	180	180	180	180	180	180	180	180	180
額平均日	180	180	180	180	180	180	180	180	180	180	180	180	180	180
工鉛	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
額最高日	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
額平均日	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
工管鐵	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
額最高日	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300
額平均日	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300
工木	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
額最高日	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200
額平均日	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200
工石	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
額最高日	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
額平均日	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
備考														

第二 職員並附屬員(其二)附屬員(給仕、小使、工手、助手、組長、)

水道名	仕給	使小	工鉛	工管鐵	工木	工石	備考
久留米市	二	二	四	二	四		
門司市	二	二	二	二	二		
小倉市	二	二	二	二	二		
若松市	二	二	二	二	二		
大牟田市	二	二	二	二	二		
八幡市	三	二	二	二	二		
戸畑市	二	二	二	二	二		
飯塚町	二	二	二	二	二		
大分市	二	二	二	二	二		
別府市	二	二	二	二	二		
中津市	二	二	二	二	二		
佐賀市	二	二	二	二	二		
熊本市	二	二	二	二	二		
鹿兒島市	二	二	二	二	二		
那覇市	二	二	二	二	二		
京城府	三	二	二	二	二		
仁川府	二	二	二	二	二		

水道名	仕給	使小	工鉛	工管鐵	工木	工石	備考
吳市	一	一	一	一	一		
尾道市	一	一	一	一	一		
福山市	二	一	一	一	一		
下關市	二	一	一	一	一		
宇部市	二	一	一	一	一		
和歌山市	二	一	一	一	一		
徳島市	二	一	一	一	一		
高松市	二	一	一	一	一		
丸龜市	二	一	一	一	一		
松山市	二	一	一	一	一		
宇和島市	二	一	一	一	一		
高知市	二	一	一	一	一		
福岡市	二	一	一	一	一		

水道名	給仕	小使	工鉦	鐵管工	木工	石工	備考
全州							
光州							
高州							
浦項							
金泉							
晉州							
鎮海							
義州							
春川							
平康							
清津							
羅南							
城津							
會寧							
臺北							
基隆							

第二 職員並附屬員(其二)附屬員(給仕、小使、工手、助手、頭長)

一六五頁へ續ク

水道名	給仕	小使	工鉦	鐵管工	木工	石工	備考
群山府							
木浦府							
大邱府							
釜山府							
平壤府							
鎮南浦府							
新義州府							
元山府							
咸興面							
豐原町							
大泊町							
清州							
公州							
江景							

一六四頁へ續ク

水道名	職名	額		備考
		最高日	平均日	
東京市	煉瓦工	15	2,740	
	鍛冶工	1	2,000	
京都市	測量器繕修工	2	2,730	
	唧筒運轉工	2	2,960	
大阪市	火夫	2	5,500	
	注油夫	3	2,400	
神戸市	電工	1	2,900	
	備考			
横濱市	備考			
	備考			
名古屋市	備考			
	備考			
函館市	備考			
	備考			
小樽市	備考			
	備考			
室蘭市	備考			
	備考			
釧路市	備考			
	備考			
八王子市	備考			
	備考			
目黒町	備考			
	備考			

一四五頁ヨリ續ク
 第二 職員並附屬員(其二)附屬員(煉瓦工、鍛冶工、測量器繕修工、唧筒運轉工、火夫、注油夫、電工)
 一五七
 一六九頁へ續ク

第二 職員並附屬員 (其二) 附屬員

昭和三年末現在
 一六九頁へ續ク

水道名	職名	額		備考
		最高日	平均日	
郭家店	給仕	1	2,740	
	小使	1	2,000	
范家屯	手工組長	1	2,730	
	鉛工	1	2,960	
長春	鐵管工	1	5,500	
	木工	3	2,400	
本溪湖	石工	1	2,900	
	備考			
橋頭	備考			
	備考			
連山關	備考			
	備考			
雞冠山	備考			
	備考			
安東	備考			
	備考			
煙臺	備考			
	備考			
撫順	備考			
	備考			
玉川水道	備考			
	備考			
株式會社	備考			
	備考			
湖南水道	備考			
	備考			
株式會社	備考			
	備考			
箱根登山鐵道株式會社	備考			
	備考			

一五六
 一六八頁へ續ク

水道名	工瓦煉	工冶鍛	修繕工	運轉工	夫火	夫油注	工電	備考
澁谷町	人	人	一人	四人	人	人	人	
青梅町								
峰山町								
堺市								
横須賀市								
川崎市								
姫路市								
尼崎市								
明石市								
西宮市								
高砂町								
豊岡市								
長崎市								
佐世保市								

水道名	工瓦煉	工冶鍛	修繕工	運轉工	夫火	夫油注	工電	備考
新潟市								
長岡市								
高田市								
新發田町								
前橋市								
高崎市								
沼田町								
水戸市								
宇都宮市								
奈良市								
津市								
桑名町								
豊橋市								
静岡市								
濱松市								
伊東町								
熱海町								

第二 職員並附屬員(其二) 附屬員 (煉瓦工、鍛冶工、量水器修繕工、電機運轉工、火夫、注油夫、電工)

水道名	甲府市	谷村町	大津市	長野市	松本市	上田市	上諏訪町	仙臺市	鹽釜町	石巻町	福島市	福井市	秋田市	山形市	五所川原町	青森市	平町
工瓦煉																	
額最高日																	
額平均日																	
工冶鍛																	
額最高日																	
額平均日																	
修繕工																	
量水器																	
額最高日																	
額平均日																	
運轉工																	
額最高日																	
額平均日																	
夫火																	
額最高日																	
額平均日																	
夫油注																	
額最高日																	
額平均日																	
工電																	
額最高日																	
額平均日																	
備考																	

一四九頁ヨリ續ク

第二 職員並附屬員(其二)附屬員(煉瓦工、鍛冶工、量水器修繕工、
脚車運轉工、火夫、注油夫、電工)

一六一

一七三頁へ續ク

水道名	甲府市	谷村町	大津市	長野市	松本市	上田市	上諏訪町	仙臺市	鹽釜町	石巻町	福島市	福井市	秋田市	山形市	五所川原町	青森市	平町
工瓦煉																	
額最高日																	
額平均日																	
工冶鍛																	
額最高日																	
額平均日																	
修繕工																	
量水器																	
額最高日																	
額平均日																	
運轉工																	
額最高日																	
額平均日																	
夫火																	
額最高日																	
額平均日																	
夫油注																	
額最高日																	
額平均日																	
工電																	
額最高日																	
額平均日																	
備考																	

一四九頁ヨリ續ク

一六〇

一七三頁へ續ク

水道名	久留米市	門司市	小倉市	若松市	大牟田市	八幡市	戸畑市	飯塚町	大分市	別府市	中津市	佐賀市	熊本市	鹿兒島市	那覇市	京都市	仁川府
工瓦煉																	
額最高日																	
額平均日																	
工冶鍛																	
額最高日																	
額平均日																	
修繕工																	
運轉工																	
夫火																	
夫油注																	
工電																	
備考																	

一五〇頁ヨリ續ク

第二 職員並附屬員(其二)附屬員(煙草工、織造工、量水器修繕工、郵便運轉工、火夫、津浦大電工)

一六三

一七五頁へ續ク

水道名	福岡市	高知市	宇和島市	松山市	九龜市	高松市	徳島市	和歌山市	宇部市	下關市	福山市	尾道市	吳市
工瓦煉													
額最高日													
額平均日													
工冶鍛													
額最高日													
額平均日													
修繕工													
運轉工													
夫火													
夫油注													
工電													
備考													

一五〇頁ヨリ續ク

一六二

一七四頁へ續ク

水道名	雑工		工夫		定人		臨時直		其他		員數計	備考
	額最高日	平均日	額最高日	平均日	額最高日	平均日	額最高日	平均日	額最高日	平均日		
東京市	133	133	145	145	14	14	18	18	7	7	103	其他備七九人ハ自動車自動艇運轉士三〇人 機運轉工二五機機助手三 福木五弁指四雜務七トス
京都市	133	133	145	145	14	14	18	18	7	7	103	其他備三四人ハ給水工四人水檢工三〇人トス
大阪市	133	133	145	145	14	14	18	18	7	7	103	其他備一〇人ハ自動車運轉手トス
横濱市	133	133	145	145	14	14	18	18	7	7	103	其他備二人ハ守衛トス
神戸市	133	133	145	145	14	14	18	18	7	7	103	其他備三七人ハ看守二〇人備員六人電話 手五人自動車運轉手二人同助手二人臨時 石工一人臨時左官一人トス
名古屋	133	133	145	145	14	14	18	18	7	7	103	其他備一〇人ハ運轉士二人機關士二人水 夫一〇人トス
小樽市	133	133	145	145	14	14	18	18	7	7	103	
室蘭市	133	133	145	145	14	14	18	18	7	7	103	
釧路市	133	133	145	145	14	14	18	18	7	7	103	
八王子市	133	133	145	145	14	14	18	18	7	7	103	
目黒町	133	133	145	145	14	14	18	18	7	7	103	

第二 職員並附屬員(其二)附屬員(雑工、工夫、定人、臨時直傳人夫、其他)

第二 職員並附屬員 (其二) 附屬員

昭和三年末現在

水道名	煉瓦工		鍛冶工		量水器		唧筒		火夫		注油夫		電工		備考
	額最高日	平均日	額最高日	平均日	額最高日	平均日	額最高日	平均日	額最高日	平均日	額最高日	平均日	額最高日	平均日	
郭家店															日ハ日本人 示ス
范家屯															日ハ日本人 示ス
長春															日ハ日本人 示ス
本溪湖															同
橋頭															日ハ日本人 示ス
連山關															日ハ日本人 示ス
安東															日ハ日本人 示ス
煙臺															日ハ日本人 示ス
撫順															日ハ日本人 示ス
玉川水道															日ハ日本人 示ス
株式會社															日ハ日本人 示ス
湘南水道															日ハ日本人 示ス
株式會社															日ハ日本人 示ス
道根會社															日ハ日本人 示ス
道根會社															日ハ日本人 示ス

水道名	工 雑	夫 工	夫人定	備 臨時直 人 夫	他 其	員 數 計	備 考
澁谷町	1人	6人	4人	2人	1人	4人	
青梅町		1人	1人	1人		3人	
峰山町		1人	1人	1人		3人	
堺市		4人	5人	1人		10人	
横須賀市		4人	1人	1人		6人	其他欄一人ハ守衛トス
川崎市		4人	1人	1人		6人	
姫路市		6人	5人	1人		12人	
尼崎市		6人	5人	1人		12人	
明石市		4人	1人	1人		6人	
西宮市		4人	1人	1人		6人	
高砂町		4人	1人	1人		6人	
豊岡町		4人	1人	1人		6人	
長崎市	1人	1人	1人	1人	1人	5人	
佐世保市	1人	1人	1人	1人	1人	5人	

水道名	工 雑	夫 工	夫人定	備 臨時直 人 夫	他 其	員 數 計	備 考
新潟市		5人	8人	3人	2人	18人	其他欄二人ハ水道倉庫看守 人トス
長岡市		1人	1人	1人	1人	4人	
高田市		1人	1人	1人	1人	4人	
新發田町		2人	1人	1人	1人	5人	
前橋市		6人	1人	1人	2人	10人	
高崎市		1人	1人	1人	1人	4人	
沼田町		4人	1人	1人	1人	7人	
水戸市		4人	1人	1人	1人	7人	
宇都宮市		4人	1人	1人	1人	7人	
奈良市		9人	1人	1人	1人	12人	
津市		7人	1人	1人	1人	10人	
桑名町		7人	1人	1人	1人	10人	
豊橋市		7人	1人	1人	1人	10人	
静岡市		7人	1人	1人	1人	10人	
濱松市		7人	1人	1人	1人	10人	
伊東町		7人	1人	1人	1人	10人	
熱海町		7人	1人	1人	1人	10人	

第二 職員並附屬員(其二)附屬員(雑工、工夫、定人夫、臨時直備人夫、其他)

水道名	工 雜	夫 工	夫人定	備 臨時直	他 其	員 數 計	備 考
甲 府 市	人	六	六	三	人	六	
谷 村 町	人	五	三	三	人	三	
大 津 市	人	一	一	一	人	一	
長 野 市	人	一	一	一	人	一	
松 本 市	人	一	一	一	人	一	
上 田 市	人	一	一	一	人	一	
上 諏 訪 町	人	一	一	一	人	一	
仙 臺 市	人	一	一	一	人	一	
鹽 釜 町	人	一	一	一	人	一	
石 巻 町	人	一	一	一	人	一	
福 島 市	人	一	一	一	人	一	
若 松 市	人	一	一	一	人	一	
郡 山 市	人	一	一	一	人	一	

平 町	青 森 市	五 所 川 原 町	山 形 市	秋 田 市	福 井 市	金 澤 市	高 岡 市	鳥 取 市	米 子 市	松 江 市	岡 山 市	倉 敷 市	廣 島 市
人	二	一	五	二	一	六	七	四	三	七	一	三	二
額最高日	二九〇	二〇七	二六七	二六五	二六五	二〇〇	二八六	二二五	二八〇	二八〇	二八〇	二八〇	二〇八
額平均日	二九〇	二〇七	二六七	二六五	二〇〇	二〇〇	二八六	二二五	二八〇	二八〇	二八〇	二八〇	二〇八
夫人定	三	一	二	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一
額最高日	二五二	二二八	二五〇	二五〇	二四四	二〇〇	二七〇	二二五	二七〇	二七〇	二四七	二四七	二〇〇
額平均日	二五二	二二八	二五〇	二五〇	二四四	二〇〇	二七〇	二二五	二七〇	二七〇	二四七	二四七	二〇〇
備 臨時直	三	一	七	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
他 其	人	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
員 數 計	六	三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
備 考													

第二 職員並附屬員(其二)附屬員(雑工、工夫、定人、其他)

〔其他欄三人ハ臨時職工二人
臨時石工一人トス〕

其他欄一人ハ倉庫夫トス

其他欄一人ハ水栓手トス

其他欄六人ハ看守水栓手トス

〔其他欄八人ハ自動車運轉手
三人看守五人トス〕

水道名	工雑	夫工	夫人定	備人夫	他其	員數計	備考
吳市	七	一	一〇	三	一	七	一、量水器修繕工ハ鉛工中 二、含△ 三、其他欄一人ハ採水夫トス 一、船工九人ノ内七人ハ鐵管布設ニモ從 事ス 二、其他欄三人ハ水栓等トス 其他欄一人ハ旋盤工トス 其他欄一人ハ水栓番トス
尾道市			二			二	
福山市			五			五	
下關市			二			二	
宇部市			八			八	
和歌山市			三			三	
徳島市			四			四	
高松市			八			八	
丸龜市			四			四	
松山市			四			四	
宇和島市			六			六	
高知市			八			八	
福岡市			六			六	

水道名	工雑	夫工	夫人定	備人夫	他其	員數計	備考
久留米市			二			二	一、量水器修繕工ハ鉛工中 二、含△ 三、其他欄一人ハ採水夫トス 其他欄六人ハ水栓手三人運 轉手三人トス 其他欄四人ハ水栓手トス 其他欄一人ハ自動車運轉手 トス
門司市			二			二	
小倉市			二			二	
若松市			一			一	
大牟田市			二			二	
八幡市			一			一	
戸畑市			二			二	
飯塚市			三			三	
大分市			六			六	
別府市			四			四	
中津市			二			二	
佐賀市			四			四	
熊本市			三			三	
鹿兒島市			二			二	
那覇市			二			二	
京城府			三			三	
仁川府			二			二	

第二 職員並附屬員(其二) 附屬員(臨時直傳人夫其他)

水道名	工雜	夫工	夫人定	備臨時直 人夫	他其	員數計	備考
群山府	人	人	人	人	人	人	其他欄三人ハ巡視トス
木浦府	人	人	人	人	人	人	鈴工ハ鐵管工兼務ス
大邱府	人	人	人	人	人	人	其他欄三人ハ水栓番トス
釜山府	人	人	人	人	人	人	其他欄二人ハ水栓番トス
平壤府	人	人	人	人	人	人	
鎮南浦府	人	人	人	人	人	人	
新義州府	人	人	人	人	人	人	
元山府	人	人	人	人	人	人	
咸興面	人	人	人	人	人	人	
豐原町	人	人	人	人	人	人	
大泊町	人	人	人	人	人	人	
清州	人	人	人	人	人	人	
公州	人	人	人	人	人	人	
江景	人	人	人	人	人	人	

水道名	工雜	夫工	夫人定	備臨時直 人夫	他其	員數計	備考
全州	人	人	人	人	人	人	
光州	人	人	人	人	人	人	
高興	人	人	人	人	人	人	
浦項	人	人	人	人	人	人	
金泉	人	人	人	人	人	人	
晉州	人	人	人	人	人	人	
鎮海	人	人	人	人	人	人	
海州	人	人	人	人	人	人	
義州	人	人	人	人	人	人	
春川	人	人	人	人	人	人	
平康	人	人	人	人	人	人	
清津	人	人	人	人	人	人	
羅南	人	人	人	人	人	人	
城津	人	人	人	人	人	人	
會寧	人	人	人	人	人	人	
臺北	人	人	人	人	人	人	
基隆	人	人	人	人	人	人	

第二 職員並附屬員(其二)附屬員(雑工、工夫、定人夫、臨時直備人夫、其他)

其他欄三人ハ水栓番及水道
巡視トス

其他欄一〇人ハ水栓工三人、鑿金二人、守
備三人トス

其他欄一四人ハ船舶給水關
係者トス

水道名	工雜	夫工	夫人定	備時直	他其	員數計	備考
淡水中	額最高日	額最高日	額最高日	額最高日	額最高日	二	
彰化	額最高日	額最高日	額最高日	額最高日	額最高日	二	
臺南	額最高日	額最高日	額最高日	額最高日	額最高日	二	
嘉義	額最高日	額最高日	額最高日	額最高日	額最高日	二	
高雄	額最高日	額最高日	額最高日	額最高日	額最高日	二	
屏東	額最高日	額最高日	額最高日	額最高日	額最高日	二	
花蓮港	額最高日	額最高日	額最高日	額最高日	額最高日	二	
大連	額最高日	額最高日	額最高日	額最高日	額最高日	二	
旅順	額最高日	額最高日	額最高日	額最高日	額最高日	二	
金州	額最高日	額最高日	額最高日	額最高日	額最高日	二	
荒玉水道	額最高日	額最高日	額最高日	額最高日	額最高日	二	
町村組合	額最高日	額最高日	額最高日	額最高日	額最高日	二	
江戶川上水	額最高日	額最高日	額最高日	額最高日	額最高日	二	
町村組合	額最高日	額最高日	額最高日	額最高日	額最高日	二	
沙河口	額最高日	額最高日	額最高日	額最高日	額最高日	二	
瓦房店	額最高日	額最高日	額最高日	額最高日	額最高日	二	
熊岳城	額最高日	額最高日	額最高日	額最高日	額最高日	二	
蓋平	額最高日	額最高日	額最高日	額最高日	額最高日	二	
大石橋	額最高日	額最高日	額最高日	額最高日	額最高日	二	
海城	額最高日	額最高日	額最高日	額最高日	額最高日	二	
鞍山	額最高日	額最高日	額最高日	額最高日	額最高日	二	
遼陽	額最高日	額最高日	額最高日	額最高日	額最高日	二	
蘇家屯	額最高日	額最高日	額最高日	額最高日	額最高日	二	
奉天	額最高日	額最高日	額最高日	額最高日	額最高日	二	
鐵嶺	額最高日	額最高日	額最高日	額最高日	額最高日	二	
開原	額最高日	額最高日	額最高日	額最高日	額最高日	二	
昌圖	額最高日	額最高日	額最高日	額最高日	額最高日	二	
双廟子	額最高日	額最高日	額最高日	額最高日	額最高日	二	
四平街	額最高日	額最高日	額最高日	額最高日	額最高日	二	
公主嶺	額最高日	額最高日	額最高日	額最高日	額最高日	二	

第二 職員並附屬員(其二)附屬員(臨時直備人夫其他)

水道名	工雜	夫工	夫人定	備時直	他其	員數計	備考
瓦房店	額最高日	額最高日	額最高日	額最高日	額最高日	一	
熊岳城	額最高日	額最高日	額最高日	額最高日	額最高日	一	
蓋平	額最高日	額最高日	額最高日	額最高日	額最高日	一	
大石橋	額最高日	額最高日	額最高日	額最高日	額最高日	一	
海城	額最高日	額最高日	額最高日	額最高日	額最高日	一	
鞍山	額最高日	額最高日	額最高日	額最高日	額最高日	一	
遼陽	額最高日	額最高日	額最高日	額最高日	額最高日	一	
蘇家屯	額最高日	額最高日	額最高日	額最高日	額最高日	一	
奉天	額最高日	額最高日	額最高日	額最高日	額最高日	一	
鐵嶺	額最高日	額最高日	額最高日	額最高日	額最高日	一	
開原	額最高日	額最高日	額最高日	額最高日	額最高日	一	
昌圖	額最高日	額最高日	額最高日	額最高日	額最高日	一	
双廟子	額最高日	額最高日	額最高日	額最高日	額最高日	一	
四平街	額最高日	額最高日	額最高日	額最高日	額最高日	一	
公主嶺	額最高日	額最高日	額最高日	額最高日	額最高日	一	

中ハ中國人ヲ示ス

日ハ日本人、中ハ中國人ヲ示ス

〔其他欄日七人ハ給水夫一人給水五人給水一人中一人ハ給水夫ト示ス日ハ日本人、中ハ中國人ヲ示ス〕

〔其他欄日二人ハ水栓番ト示ス日ハ日本人、中ハ中國人ヲ示ス〕

〔其他欄中一人ハ給水夫ト示ス日ハ日本人、中ハ中國人ヲ示ス〕

〔其他欄一人ハ水栓番ト示ス日ハ日本人、中ハ中國人ヲ示ス〕

〔其他欄一人ハ水源地看着人ト示ス〕

〔其他欄九人ハ番人三人守衛四人交換子二人ト示ス〕

水道名	雑工		工夫		定人		臨時直備人		其他		員數計		備考
	最高額	平均日額	最高額	平均日額	最高額	平均日額	最高額	平均日額	最高額	平均日額	最高額	平均日額	
郭家店													
范家屯													
長春													
本溪湖													
橋頭													
連山關													
鷄冠山													
安東													
煙臺													
撫順													
玉川水道													中ハ中國人ヲ示ス
株式會社													日ハ日本人ヲ示ス
湖南水道													其他欄一人ハ圖工トス
株式會社													
箱根登山鐵道株式會社													

第三、水道事務處理件數

昭和三年中

水道名	處理總件數	給水事務		其他		工事關係		備考
		開始	中止廢止	給水裝置使用條例所有權轉移違背者發見	其他	其他	其他	
東京市	四、一四、九九九件	五九、九六九件	四七、二七四件	八六九件	一一、一五七件	九五、一六三件	四九七、五五六件	使用條例違背者發見件數中 處分ヲ免除セラルモノ九 三〇三三三件ヲ含ム
京都市	五、三八、六四四件	一一、〇一一件	七、四〇六件	九九〇件	三、七〇一件	一、六九九件	二八、〇六〇件	
大阪市	四、三三、三六七件	四七、七〇四件	二五、二四三件	一、四八三件	一四、四三一件	一、七六件	四、三三六、三三〇件	
横濱市	九、六一、三三〇件	三六、二五七件	二四、八五一件	二、四八三件	一、九二三件	一、〇六五七件	三三、四三三件	中止ハ廢止中ニ 含ム
神戸市	八、五、五〇三件	一三、三二〇件	八、五八九件	三、一三五件	一、七三三件	一八、三三九件	四〇、三九七件	給水事務其他關係件數 ハ使用權移轉給水種別 變更及給水權札ノ請 求等トス 二、條例下 八、條例下 示ス
名古屋市	二、四、〇三〇件	八、二五〇件	四、八三七件	六九九件	八九一件	七〇三件	一六、六六三件	
名古屋	一一、二八一件	五三七件	三三七件	一一二件	二二五件	九件	九、三三五件	
小樽市	四〇、四七三件	一、二六六件	三六件	九三三件	八三件	三五件	三六、三三九件	
室蘭市	二、〇〇六件	一、三〇〇件	三七件	三三二件	一一件	一一件	一、七九〇件	
釧路市	一、一五五件	一、一三五件	三件	二件	一、一三五件	一、一三五件	三六六件	
八王子市	六、〇七四件	一、三五四件	五八四件	一、三五四件	一、三五四件	一、三五四件	二、五五六件	
目黒町								

第三 水道事務處理件數

水道名	處理總件數	開始	中止	廢止	給水裝置使用條例 所有權移轉違背者發見	其他	工事關係 其他	備考
新潟市	九、九五五	四、三二一	四〇	三、八九三	四三八	五、四九二	二八、三三三	
長岡市	四、九〇五	一、〇三一	三三三	三六	二六	三九、〇二二	一、四六七	
高田市	五五一	二八七	一一	五	三五	二二五	二二五	
新發田町	六、七七三	二、五三三	一〇六		六〇	二、二三五	一、八三九	昭和三年一月一日給水開始
前橋市	八、六〇三	一、〇三六	七〇七	三六	三〇〇	四、〇三二	一、九三五	
沼田町	八、九四	四八	三三		五	六〇八	三二〇	
水戸市	一、二八四	三五〇		二二八	三〇	二二二	四七四	
宇都宮市	四〇、一六八	二、五四〇	三、一七三	六三	三三三	一、五六六	八、八二八	
奈良市								
津市								
桑名町								
豐橋市								
静岡市								
濱松市								
伊東町								
熱海町								

水道名	處理總件數	開始	中止	廢止	給水裝置使用條例 所有權移轉違背者發見	其他	工事關係 其他	備考
澁谷町	三、五六七	三、四一〇	二、五九九	一、五三	五六	五、四一八	一、三〇三	
青梅町	六、五七三	四八一	一七	二	二	二七〇	五、八〇一	
峰山町	二七二	八二	一三	七	三	三七	一一一	
堺市	二、三、四、八、五	一、七三〇	一、〇二五	二、三六	一、三三	九、三七四	一〇、九九七	中止ハ停水處分ニ依ルモノ廢止ハ給水使用廢止ノテ掲ク
横須賀市	二、八、〇、五、四	六、八三五	三、一三四	四、八七四	二、二四	二、三三五	六、一三四	
川崎市	一、六、七、四、三	二、八六七	一、二七八	二二	一、三〇	一〇、一三一	二、二二五	
姫路市	六、一、八、五	一、四四六	一、二八六	二四	三四	五、三四	二、五九九	
明石市	四、一、三、八	八四六	四七〇	二二	四八	一、六一	二、六〇一	
西宮市	三、九、四	九六		四	八	二〇五	八一	
高砂町								
豐岡町								
長崎市	二、六、六、六	四、四六三		三、九七〇	七、六六	六、七五五	一〇、三三五	
佐世保市	三〇、三、六、三	七、五、四、四	七六	七、八、一、五	二、九、三	三、五、三	三、四、一、七	

水道名	處理總件數	開始	中止	廢止	給水裝置使用條例 所有權移轉違背者發見	其他	工事關係 其他	備考
青森市	八六、六八〇	二二二	二二七	三五	一九四	二七六	七七、六三七	八、〇九九
五所川原町	一、一四〇	二三四	一	一五〇	八	三	一七六	五七八
山形市	四四、三三三	一、四五八	七四	一、〇七八	五八	一	二、八七四	三八、七九〇
秋田市	二二、六二八	一、三七三	一	一、一九六	八〇	八	一七、三八五	三、五六六
福島市	一五、〇一六	二、〇〇三	七〇	八四	一三三	二、九三三	五、〇六八	四、〇九七
高岡市	六二八	一、四一九	九三	三四一	一〇六	五	二、九一八	四、六一二
米子市	五、二〇九	六二八	四三	一三三	九	一	八七	四、三〇〇
松江市	七、八一〇	一、六五一	八七	一、六四三	一六	四、四二四	二、九一八	二九、二八八
岡山市	五一、四八二	五、三七〇	一	四、一〇〇	六四	四、三四三	七、七六八	二九、二八八
倉敷市	二、五八六	九三三	一	六九六	二	一	四〇三	五五三
廣島市	四一〇、五八四	一四、四〇六	一、二、六三〇	三九一	五五六	三三	三、五、五二二	五七、〇五七
吳市	一四二、七九九	五、九七九	五、〇四九	六二	三三	八二	九九、九三三	三一、六六一
尾道市	九、六八四	四六四	一	二〇九	二二	一	一、三九四	七、五九五
福山市	四、六七八	九一五	二〇三	三	二	一	九六五	二、五九〇
下關市	一二七、五五五	四、九五四	五三	三、六五六	一八八	一	一一〇、九四八	七、七五六

第三 水道事務處理件數

一八五

給水事務其他欄
ニハ停水通知減
免許可等ヲ含ム
給水未開始

水道名	處理總件數	開始	中止	廢止	給水裝置使用條例 所有權移轉違背者發見	其他	工事關係 其他	備考
甲府市	一九、五八五	一、九五三	一、四七三	六六	二六	九七	六、五七四	八、二八八
谷村町	一、三九九	二二	一	八二	一八	一	九九〇	一九八
大津市	一、八五九	一、八五九	一	一、七四七	一	一	三六〇	一五、四〇五
長野市	一、九四一	一、八五九	一	一、七四七	一	一	三六〇	一五、四〇五
松本市	三、〇九〇	一、四三〇	一	一、二四七	一四	一	一〇三	三、二四〇
上田市	五、二二四	二二五	一〇〇	一三	七〇	一	一、六六六	三、二四〇
上諏訪町	二、三、四九〇	四、六五七	二八	四、四一三	五〇九	一	五、三四〇	八、五四三
鹽釜町	六二八	七七	八	二	一五	一	一	五二六
石巻町	四、七八五	一、七六三	一	一、四七〇	九四	一	四一六	一、〇四三
福島市	一〇、一〇一	一、三五四	一	八八二	五六	一	六九三	二、九四〇
郡山市	四、八四一	六六二	一八九	五三三	七四	一	二、八一	五八三

一八四

水道名	處理總件數	給水事務				其他	工事關係	備考
		開始	中止	廢止	所有權移轉違背者發見			
宇部市	一、五〇三	七二八	六	一五	五六	九八	五五四	
和歌山市	四、一七八	三、〇二五	九〇九	三七	二〇	一八七		
德島市	五、三三五	一、三二五	五五五	三三	一四三	一、五〇一		
高松市	九、八四五	二、二四三	一〇	一六四六	八五	一、九〇六		
丸龜市	三、四五九	九五九	五五二	一〇	一〇	一、六三三		
松山市								
宇和島市	三、〇〇九	一、三三三	一四	九六八	五二	五三		
高知市	七、〇六七	三、二七〇	一、九八八	二一五	三八	三六九		
福岡市	一九、五六五	二、六四三	一、四九四	二二二	一七五	五四二		
久留米市								
門司市	二四、二〇七	四、二六四	八	三、五〇一	一三六	九、二七六		
小倉市	一五、五六三	二、〇七四		一、八〇〇	七五	二五六		
若松市	一八、五〇四	三、四五三	一	二、七八八	三三	一〇、七七		
大牟田市	二一、三五六	四、四八八		三、九三六	二五	五七七		

市外給水ヲ合ム

八幡市							
戸畑市							
飯塚町	七五九	二九七	一四二		三三	二七〇	三〇九
大分市	三、六九二	八八一	四八五	二七	三三	二七〇	一九八二
別府市	一〇、三四〇	四四五	八九七	七二	三〇	三、九九七	四、七二〇
中津市	五、一四五	一、三〇三	一六	三	二	二二	三、六一
佐賀市	六、〇四八	一、二五五			五	一、七四七	一、五四六
熊本市							
鹿兒島市	八五、八六八	一、三七五		八七三	三五四	四、八四九	七六、八八二
那覇市							
京城府	三三、二九四	三、二八二	一、六二六	七五	六七〇	五、〇〇一	二五、四、五九一
仁川府	一六、五九〇	三、二六四	八	二、四〇〇	一一三	一、四一八	九、三三五
群山府	二、〇五五	八三〇	五	六〇二	一一三	三三八	二五五
木浦府	一、五三三	二八三	六	一五八	一一	六三六	二八九
大邱府	六、二二	九六九	七八九	一	三六	一、三六八	一、三六三
釜山府	一六、〇九〇	五、六七六			一七〇	三、一五三	三、〇四八
平壤府	一八、三一八	八二五	四五四	二四	四三〇	一、九七〇	一三、二七四

條内違背者發見件數ハ行政區分ヲナセシモノヲ指ス

中止ハ廢止中ニ合ム

第三 水道事務處理件數

水道名	處理總件數	開始	中止	廢止	給水裝置使用條例違背者發見	其他	工事關係其他	備考
晉州	1,006	363	95	233	1	156	110	
鎮海	903	740	1	215	4	20	17	
義州	961	370	8	223	156	185	147	
春川	530	184	1	177	1	185	3	
平康	743	224	13	199	2	2	311	
清津	280	92	1	177	15	358	6	
羅南	61	264	1	273	18	496	415	
城津	526	226	1	210	75	6	23	
會寧	734	258	14	203	45	178	36	
臺北	66,800	3,999	2,999	80	1	152	59,387	
基隆	74,373	2,911	2,333	66	63	71,266	1,654	
淡水中	2,684	153	103	7	5	2,092	335	
彰化	3,358	735	567	26	8	1,858	809	
彰化	511	321	104	1	4	172	1	
臺南	10,819	653	511	59	17	9,469	509	
嘉義	9,033	136	186	1	56	8,136	509	

其他ハ調定督促等トス
其他ハ船舶給水名義變更人員異動給水方法變更等ヲ含ム

水道名	處理總件數	開始	中止	廢止	給水裝置使用條例違背者發見	其他	工事關係其他	備考
鎮南浦府	5,339	1,296	8	908	33	286	288	
新義州府	2,719	1,193	23	1,270	1	1	130	
元山府	3,250	947	255	185	10	850	893	
咸興面	1,692	184	2	2	3	263	1,399	
豐原町	7,819	1,372	2	934	1	1,332	4,882	
大泊町	1,187	390	1	340	1	162	150	
清州	730	355	1	239	6	140	164	
公州	1,107	338	4	137	1	206	42	
全州	1,655	554	8	362	3	70	70	
光州	1,336	426	1	354	5	19	533	
高興	3	3	1	1	1	1	1	
浦項	650	69	3	1	2	1	533	
金泉	404	24	6	198	5	47	64	